夕刊
臺灣日日新報
一月六日

韶關を連續急襲

敵軍事施設を爆碎炎上

【南京六日發同盟】支那派遣軍報道部發表(一月六日十二時)一月五日我が陸軍航空部隊は前日に引續き大擧韶關を急襲し熾烈なる地上砲火を冒して附近の敵軍事施設を爆碎或は炎上せしめたり、我が一機は敵彈を蒙れるも全機歸還せり

我荒鷲の威力に慴伏

在印敵米英戰闘機隊

我血の訓練と雲泥の差

【○○基地五日發同盟】[illegible]チッタゴン、テンスキヤ、[illegible]、フェンニー、カルカッタ等と東方に亙り[illegible]

[illegible]

重慶苦悶の强壓政策

國内體制再整備に狂奔

【廣東電話】大東亞戰爭の勃發[illegible]

戰略と兵力

[illegible]

白書の發表數蛇

米政界筋に物議を醸す

【ブエノスアイレス五日發同盟】[illegible]

飽迄必勝を目標に

府政運營の大刷新

歸任の小澤府文書課長談

[illegible]

獨土借款細目協定調印

【ベルリン五日發同盟】[illegible]

獨軍大反擊

ドン河中流地區戰車戰

【ストックホルム五日發同盟】[illegible]

赤軍の反攻空し

東部戰線、獨軍戰況發表

【ベルリン四日發同盟】[illegible]

パホン中將大將に昇進

【バンコック六日發同盟】[illegible]

青木大東亞相坪上大使會談

【東京電話】[illegible]

陸軍在籍議員招待懇談會

【東京電話】[illegible]

レガスピーに臺銀出張所開設

【マニラ五日發同盟】[illegible]

陸軍司政長官山口氏任命さる

【東京電話】陸軍司政長官發令(六日)

陸軍司政長官(一)　山口誠太郎

人事

[illegible]

アリユーシャン防備の春(四)

來襲・敵機B二五型

射つには惜しい彈丸

小沼の畔りの丸太小屋

[illegible]

霧の中から江差追分

[illegible]

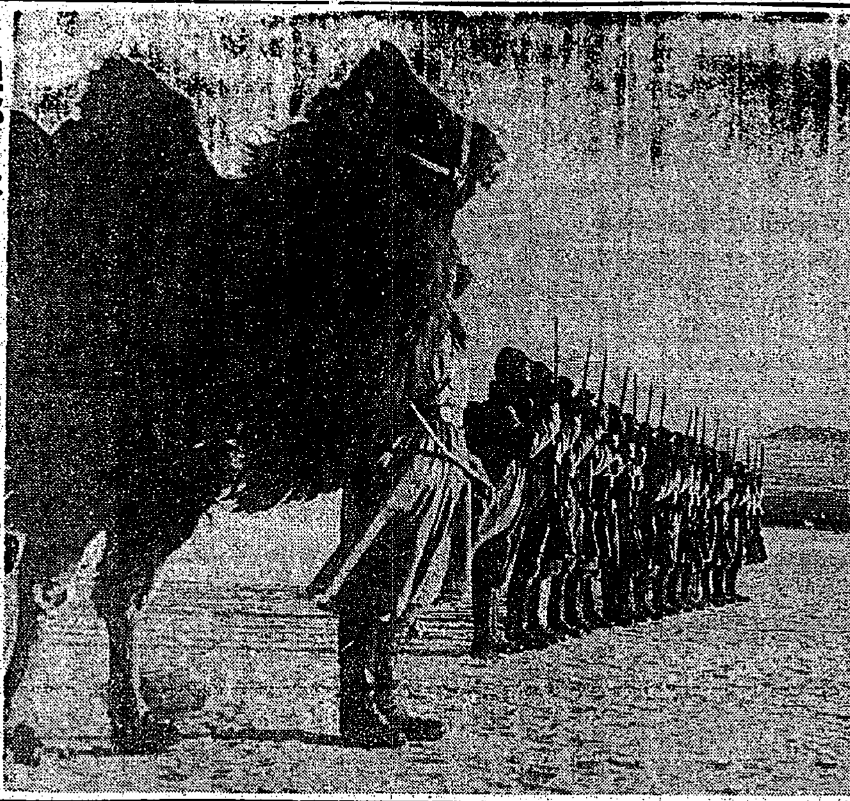
壕の中に「盡忠報國」の額

[illegible]

敵機に搭乘員の顏

[illegible]

北洋に浮く雪山を背に元氣な海の勇士達【海軍省許可濟第五七二一號】



親邦日本國に向つて滿洲國興安軍の遙拜 —(西北部國境にて)—

日章 TRADE MARK NISSHO 複寫紙

今迄の海苔よりよくて[illegible]
國策 綿海印ニワ
[illegible]

胃腸・榮養・消化
負けぬぞ！
[illegible]
錠劑 わかもと
一日數錢

歯牙愛護はスモカの使命！
歯力 體力 國力
タバコのみの
スモカ歯磨
十六錢(稅共)
煙草雜貨化粧品藥店にあり

腎臓疾患
危險なる尿毒症、高血壓に推賞せらる
病的蛋白の顯著なる減退は醫家の齊しく驚嘆せらる所にして全國官公立病院指定御採用の榮誉を擔ふ
アルワチン
日本藥品洋行

神經痛 ロイマチス劑
アトカルミン錠

腸
全國官公立病院御採用品
乳酸菌製劑
下痢、消化不良 腸カタル、便秘等
總べての腸胃諸疾患、特に乳幼児の消化不良、綠色便に廣く賞用せらる
エンテロノン
日本藥品洋行

新時代の榮養消化劑
INAHATA
腺病症 虛弱體質 姙産婦榮養 乳幼兒榮養 便秘・下痢 消化不良
スイオミン錠
發賣元 株式會社 稻畑商店 大阪市南區周防町二丁目
製造元 合名會社 日東保健科學研究所
AM-14

第二次志願兵募集受付迫る
我こそ譽の志願兵！
島都 けふから身體檢査開始

志願兵へ、軍旗の下に勇み行かんと第二次志願兵募集受付の日はいよいよ目睫に迫り本島若人は晴の門出にたつ感激の胸を押へもやらずひたすら晴れの受付日を待ちわびてゐる、島都の受付場所は市兵事課で受付初日の

十日は 恰も日曜日ではあるが市關係各課員總出動で應募を受理せんと早くも萬端の準備を終了したが更に滔々として盛り上る若人の殉國の至情に酬へ、且つ便宜をはかるためけふ六日から十五日迄十日間市役所出張所を龍山國民學校、南天[illegible]、日新國民學校講堂、老松國民學校の三ケ所に[illegible]し市內各公學部[illegible]を[illegible]にして毎日午後一時から午後五時迄志願せんとする若人の身體檢査を行ふ事となつた、第一日六日は三百名突破青年團員から團旗を先頭に押し立てて隊伍堂々とつめかけ待機す、やがて身體檢査が始まり、國に捧げる本島若人〝俺こそ甲種〟といづれも緊張の面持ちで檢査を受け、檢査醫から〝素晴らしい體格だ〟〝甲種合格だ〟と宣告されて始めてニッコリ微笑む、[illegible]檢査にも似た緊張した[illegible]を展開しつつ檢査は次々と進行、五時となつても檢査[illegible]は[illegible]青年團、防衞團、壯丁團の代表者を集め早川[illegible]の下に[illegible]すなの[illegible]で係員はこれが受理に早くも

嬉しい 悲鳴を擧げた、なほこの日總督府青年團員四十餘名は午前十一時臨時出張所[illegible]に先立ち市役所に押しかけ身體檢査を受ける等受付日の切迫に伴ひ島都の街頭は志願兵志願で賑はひ志願兵熱はいよいよ熾烈化して行つた（寫眞は身體檢査）

志願兵前奏曲

〝榮冠〟へ若人殺到
新竹州 兵事課で嬉しい悲鳴

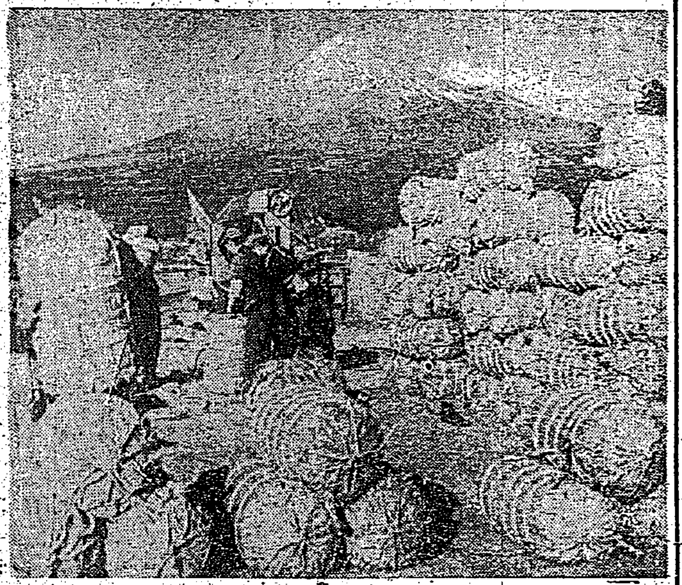
【新竹電話】新竹市兵事課では來る十日の第二次志願兵募集開始に先立つてこれが萬全を期する爲、四日午後一時から同會議室にて市內各區長[illegible]、その他必要書類の配布方及び必要事項に付いて種々打合せを爲した、此打合せ會に於て大体それぞれの區域で應募を取纏め該當の者は各所派出所又は區會を通じて提出する事に決定、之で市內では三千名を突破する準備の見込みが湧いた譯であるが右の要望目がけて早くも當日兵事課に志願兵の勸誘を依頼して應募を誓ひに來る者が殺到して居るが、その主なる者は東門壯丁團長[illegible]外團員五十名で、兵事課の店開きの日から志願兵の應募者の殺到で同課では嬉しい悲鳴をあげてゐる

適格者の奮起促す講演會
今夜新竹市に開催

【新竹電話】新竹市の有志を以て設備せる志願兵相談所では創立以來市內適齡青年並一般父兄等に呼びかけ、又幾多の若人の相談に應じてゐたが今回更に全市民に一層の奮起と努力とを促すべく講演會を開催する事となつた、此の外乃木田氏他數氏の有力者は六日夜より市內各映畫館劇場の休憩時間を利用して適齡者の全員志願熱望の叫びを爲す事となり、又八日の一般常會にも[illegible]を通じると共に一般市民の理解と努力を促す事となつた

志願兵指導 打合會開催

【基隆電話】基隆市に於ける志願兵指導打ち合せ會は六日午後二時から市三階會議室に竹中市長・宮崎基隆署長・內田水上署長始め各青年團長並に壯丁團長、各區長其他市有力者、指導階級約七十名出席して開催され志願兵手續その他に遺憾なき意見交換を遂げた



島民の赤誠

獻金總額廿五萬餘圓
昨年十二月中の軍司令部扱ひ

盛り上る島民赤誠の獻金譜は決戰の新春を迎へ連日軍司令部へ逞しく奏でられてゐるが、昨年十二月中軍司令部扱ひの獻金額は二千九十八件總じて二十五萬四千七百五十九圓七錢の巨額に達してをり軍當局を痛く感動せしめてゐる、このうち一千圓以上の高額獻金者は國防獻金二十五名、恤兵獻金十二名である

地下戰士の建艦獻金
海軍武官府・赤誠に感激

決戰第二年の心意氣を添上戰力強化に挺く地下戰士の獻金美談——

日本鑛業金瓜石鑛山では毎年消耗品料として金一封を支給する慣例になつてゐたが本年度同鑛山金瓜石[illegible]員は國家は全力を擧げて必勝の聖戰に邁進してゐる、我々も銃後戰士として日夜地底にあつて增產報國の誠を以て職場を守つてゐるのだ、云ふまでも無く我身を國家に捧げてゐるのだから酒肴料は獻金してはどうかと同志の者を呼合して[illegible]提案した處大いに贊成され、現在南北太平洋戰に於て米英艦隊と鎬をけづる必殺の戰ひを續けてゐる我が帝國無敵海軍の大戰果に感謝を捧げるため建艦獻金として獻納しようではないかの聲が全山を風靡し忽ち衆議一致、地下戰士並に同鑛山勞務、職員、鑛夫、工作、醫師、會計、各課その他勤務者病院一同の赤誠の結晶二千七百六十三圓二十錢が纏り六日一同を代表し戸田所長が臺北在勤海軍武官府を訪れ建艦獻金として獻納したがこの赤心に燃ゆる地下戰士一同の美擧には伊藤海軍武官も痛く感激を深めてゐた

海軍武官
輔佐官白水海軍中佐
南方某要職に榮轉、赴任

臺北在勤海軍武官府輔佐官白水洋海軍中佐は今回南方某要職に榮轉赴任した、白水海軍中佐は昭和十五年十一月海上要職を經て同武官府に赴任二年二ケ月、職務のかたはら本島に於ける海事思想普及に努め、更に島民奉公會中央本部參與並に海洋訓練隊長その他重要職務を擔當として今日に至り島民奉公運動に貢獻する處多大であり各方面より感謝されてゐる、白水海軍中佐は離臺の辭として次の如く述べた

在任二年二ケ月大過なく重任を果した事は各方面の御支援が多大であつた賜で頗る感謝致してゐる次第である、然し乍ら自分は[illegible]出身でありこの懷しい鄕土に於て何かと[illegible]に立ちたいと努力したのであるが何分にも職務に忙殺され思ふ[illegible]にならなかつたのは誠に殘念に思つてゐる、孰れにしても今後とも御厚援をお願ひしたい、更に紙面を通じ各方面へ宜敷御傳へを乞ふ

菊池海軍中佐着任

臺北在勤海軍武官府輔佐官白水海軍中佐の後任としては海上要職にあつた菊池[illegible]中佐が任命され[illegible]

この程着任した（寫眞上は着任した菊池海軍中佐、下は離臺した白水海軍中佐）

令旨奉讀式を擧行
けふ・日婦臺北市支會に

大日本婦人會臺北市支會では六日午後一時から市公會堂で本會第一回總會において畏くも總裁宮殿下から賜はりたる令旨の奉讀式を擧行した、支會役員、各班分會長、各分區長等百五十餘名の會員が參集、先づ國民儀禮に次いで[illegible]支會長一同の[illegible]のうちに謹みて令旨を奉讀し、令旨の御趣旨あつて會員各支會が奉讀し、決戰下婦人報國の誠をつくさんことを誓ひ合つて閉式した、引續き市民講堂で本年最初の役員會を開き、各分會經費、貯蓄獎勵、廢品回收等について種々協議を遂げ、最後に臺北市長は「決戰下の婦人の心構へ」について熱烈な講演をなし一同の多大な感銘裡に四時ごろ散會した

扇子を手にお正月
南方正月談義
メダンにて　窪川稻子

扇子を持つてお正月をすることにならうとはついこの間まで思つたこともなかつた。尤も日本では正月の客などには男も女も必ず白扇が添つてゐるので、お正月の飾附の道具に白扇を持つてゐてもいい譯であるけれど女の客などお正月の晴着の[illegible]それこそ[illegible]するよりもつと樂しい習慣だから、たとへ帶の[illegible]についてゐても白扇よりも扇子を[illegible]いてしまふ。日本の正月に白扇を添へるのは何時頃からの事か、又どういふ事からそのやうに決まつたのかと詳しいことは調べたことはないけれど要に角扇子そのものに就ていへば末廣といふお目出度いものそれから來る一種のお目出度いものとか縁起を祝ふとかいふやうな意味があらう、お正月の鏡餅のお飾りにも末廣がついてゐる、扇子の形から末廣がりと云ふ意味を見つけて末廣と言ひかへていふお目出度い時に添へるけれども[illegible]さんに[illegible]池に雌蛇の模樣などある美しい末廣の飾られてゐたのを思ひ出す、飾られた白い紙に昆布を[illegible]いてその上に末廣をひろげ熨斗や干柿や伊勢えびなどが飾られる、新しい年のお祝ひに家々が代々末廣がりを祝ふといふのだが、この頃では段々簡單になつてお盆の上にちよんと熨斗などを一つのつて居たりする風習もあるが、それでも大きな家では末廣が飾られてゐる、やはりなつかしい

マライの結婚式

又結婚式の前に結納を取り交す時の式盃にも二本の末廣が添へてある、これも末廣がりのお目出度い意味であらう、今では百貨店などでこの結納の式を賣つてゐるが上中下それに簡單なものと三通り位あつてみんな末廣はちやんとついてゐる。この間昭南でマライ人の結婚式を見た、花嫁さんの父親がチンク何某といふ人なので昭南のマライ人としては一流の結婚式であつたらしかつた、[illegible]からお祝ひの品が屆いた、二階の婦人たちの中にはいり込んでゐた私にそのお祝ひの品物の說明を求められた、大變氣のきいた美しい贈り物で、[illegible]な[illegible]の布を張つた小[illegible]の片方へ途中何匹も[illegible]がある[illegible]のたかに[illegible]人形や千代紙のあねさまや大[illegible]やお年玉などがはいつてゐた、そして末廣といふのは紙包の中に[illegible]ほどの長さの可愛い扇子がつつまれて入つてゐるお年玉の選びをして見せ、[illegible]の說明もしたが末廣の意味までは私の日本語をどこまで相手のマライ婦人達が分つたか覺束ない、只私の持つてゐた扇子と較べてその小さいのに[illegible]によつてゐた[illegible]人達が歡聲を擧げた、マライの[illegible]式の晴れの席には[illegible]のものが一對[illegible]に[illegible]へられてゐた、その[illegible]の布は花嫁、花聟のお[illegible]衣裳の模樣とこれも同じ布ではられてゐた、花嫁の持つてゐるこのひらひらと[illegible]つて[illegible]持物などを[illegible]へたりして[illegible]客などを[illegible]した末に花嫁がはいつて來て並ぶことになる、すると、この丸扇で[illegible]の女達があふいでやる、サルタンの夫人が婚式の時に花嫁の席につく[illegible]もこの[illegible]式に花嫁花聟の並んでかける椅子と[illegible]と同じだつたが、その名は「シンガサナ」と云ふ風に聞いた、この[illegible]間にも[illegible]のお[illegible]の扇子が置いてあつた、又この間何かの[illegible]を見てゐたらジャワの女の踊りに日本の扇子に似たものを持つて踊つてゐるのがあつた、日本の踊りでは扇子は實に色々のものを現はし雨傘にもなり刀にもなり又文章く歌にもなれば船の櫂にもなるし又盃の[illegible]く花にもなる、ひらひらと舞ひ落ちる雪にも小波にも

日本の女と扇子

なる、踊りに扇子を使ふのは誰が思ひついたのか實に美しく效果的だと思ふ

日本でも支那でも西洋でも女が身の飾りに扇子やそれに類するものを手にして居るのは、扇子の優美で扇子が裝飾になつて居る、その[illegible]をも皆々知つて居るからだらう。南方には[illegible]の白い花[illegible]があるの[illegible]扇子で[illegible]ぐとその[illegible]になつてゐる白い花[illegible]が風とともに香つて來る[illegible]去年の六月頃[illegible]に沿いた時西湖に近い町の扇子ばかり賣つて居る大きな老舗でこの扇子を買つたが人[illegible]の房の付いたこの華やかな扇子よりも私はやはり日本風のそれも[illegible]のない白扇が好きでそれぱかり持つて步いた、私はただららちらと[illegible]先をかざしたり日除けにかざしたりするばかりであるがいつか日本の男の作家が日本の女の子の美しさをこの白扇で描いてゐたのを思ひだす、出征する人を送る日本の女の[illegible]に見送つてゐる日本の女が[illegible]優美だけのものでなくて男の刀にもくらべられる[illegible]の身[illegible]へた[illegible]であつた、或はこれは日本の女の[illegible]さの[illegible]しさであるかも知れない[illegible]昭南の或る店で大勢男[illegible]い女が自分の扇子をインド人の[illegible]さきに突きつけて「違ふわよ、香水ぢやないわ、白檀よ白檀よ……」と[illegible]つてみせて居た、そして[illegible]段のことで『日本人はね、あんた、[illegible]にごまかされないよ』と大層[illegible]しい、私は店の奧の方に小さくなつて居た、扇子を手にお正月を[illegible]するとことになつて、もう[illegible]れてしまつた小さな白扇を前にしみじみ色々なことを思つてしまつた、自扇にはげしい表情を加へる日本の女の強さの場合には扇子はただせてしまふのはただ[illegible]の日記を南の[illegible]に過す私の[illegible]であるのだらうか、そしてまた此頃では今のところ女としては自由に步けないといふやうな[illegible]しいものの一つの[illegible]のやうなものであるけれどもそれはそれとして扇子を持つ正月をすることになつた日本の[illegible]がりは心の中に末廣がりを飾[illegible]思ひである

比島戰線の義人顯彰
谷外相 上野氏遺族に表彰狀授與

【東京電話】比島の首都マニラ陷落に明けた昨年の正月その思ひ出も新たなこの新春に贈る比島戰線に[illegible]る佳話、話は一昨年十二月二十日ミンダナオ島ダバオ邦人[illegible]に[illegible]先頭部隊が殺到した時に遡る、この時在留

邦人 男子の收容所に宛られた比島中央邦人小學校には約四千名の邦人が收容されてゐた、ここに日の丸も鮮かな島嶼攻略部隊の先頭が殺到して來たのだ、狂はんばかりに萬歲を絕叫する四千の收容邦人の眼前で戰車と敵機關銃部隊との[illegible]な死鬪が展開された、敵機關銃は多い、そして血迷つた敵は收容中の非戰鬪員たる邦人に向け機銃掃射を浴びせて來たのだ、[illegible]を擧げて[illegible]る邦人の群の中からこの時[illegible]として飛び出したのは、バヤバス日本人國民學校長上野[illegible]氏外數名の日本人だつた、[illegible]の徒手空拳の上野校長等は火を吐く機銃陣に向つて突進ひになつた、果敢にも[illegible]上野校長はらも一機銃陣を奪取したのだつた、[illegible]の[illegible]中の

戰車 [illegible]を[illegible]はず[illegible]から身を乘出して「[illegible]これを持て」と日本刀を[illegible]に投げ與へた、[illegible]上野校長は[illegible]を[illegible]しつつ[illegible]に向つて突込んで行つたが不幸この時[illegible]は氏の下腹部を[illegible]つけたのだつた、[illegible]直ちに[illegible]病院に[illegible]され[illegible]の[illegible]手術を行つたが[illegible]化し遂に十二月二十二日天皇陛下の萬歲を唱へながら不[illegible]の客となつたのであつた、[illegible]前に[illegible]日本人の[illegible]を發揮した上野校長の行爲は當時[illegible]邦人は勿論一般國民を深く感激させたが外務省では氏の[illegible]をわが國民[illegible]に在留邦人の先驅者[illegible]

軍援へ市民の赤誠譜
十二月中の寄附金二千餘圓

「一億の誠で包め兵の家」昨年十二月中に軍人援護會臺北市分會に寄附した銃後市民の援護の赤誠譜（但し十二月の大詔奉戴日[illegible]の寄附を除く）寄附金は二千八百七圓三十五錢の巨額に上つた、內譯左の通り

▲千圓玉里[illegible]之助▲五百圓臺北[illegible]▲二百五十圓山[illegible]▲三百八十七圓三十五錢[illegible]▲[illegible]市西工信用組合[illegible]

[illegible]

更に高等科增設
—若き世代訓育へ驀進—

【高雄電話】愈々義務教育制度の實施される昭和十八年度高雄州の國民學校初等科設施設は三三一學級の增加によつて學齡兒童の就學步合は所定の目標八三%に達する見込みであるが同州では次代を背負ふ小國民の育成強化に拍車をかけると共に向學心燃ゆる男女兒童の要望を緩和する爲新年度には國民學校に高等科を新設し[illegible]補習學校施設の擴充を圖ることとなつた、因に高等科の增設は[illegible]一學級新設一八學級計二九學級で[illegible]學校では屏東[illegible]に女子部一學級、屏東[illegible]に一學級新設し更に屏東市岡山街に實業女學校一校を新設する豫定である

新春增產譜
（二）

【米】日本

近年稀な豐作で手を[illegible]しても[illegible]村は忙しい、[illegible]甚音の[illegible]が新春の[illegible]光に[illegible]ザクと光る、ザクザクと手ごたはりも快く次々に出來上る四斗俵が山と積まれる時[illegible]す人達の[illegible]びが心の底から湧き上る

賞金の一部を窮民救助費に寄附

昭和[illegible]臺北[illegible]院[illegible]氏[illegible]千代子、[illegible]子、[illegible]氏來春の三[illegible]はさきに島[illegible]中央本部の[illegible]に[illegible]し[illegible]作に入選したがその賞金の一部十四圓を本社を通じ臺北市の社會事業[illegible]窮民救助費として寄附したが三名の美はしい心根に市當局は[illegible]感謝した

今夜の番組

第一放送 ▲六・〇〇少國民の時間、シンブン、[illegible]▲六・二〇、[illegible]太郎の[illegible]「米英文化との戰ひ」[illegible]▲六・五〇、[illegible]より▲七・三〇、戰時國民讀本「[illegible]」▲七・五〇、ローマより（[illegible]）「イタリア通信」▲八・〇〇、[illegible]▲九・〇〇、[illegible]

ニュース…[illegible]▲一〇・〇〇、今日の[illegible]とニュース（[illegible]）

第二放送 ▲六・〇〇、少國民の時間（[illegible]）▲六・三〇、[illegible]▲七・〇〇、[illegible]▲七・四〇、[illegible]ニュース▲[illegible]

實家に

[illegible]

清新味漂ふ東方三役陣
鐵傘下・必勝の春場所近づく

【東京電話】大東亞戰下三度迎へる大相撲本場所、來る十日から兩國の國技館で開く昭和十八年春場所新番附は必勝の氣魄の香漂ひ五日午前五時大日本相撲協會から發表された、[illegible]

優勝 [illegible]

昇進力士略歷

[illegible]

國技館に早くも初日風景

【東京電話】戰捷第二年大相撲春場所新番附も五日發表されて國技館は早々相撲氣分に沸き立ち國民[illegible]は早くも初日風景を描き初日大[illegible]の前賣切符を買はんとファンは早朝から押しかけ午前十時國技館前に長蛇の列は大[illegible]を一周りする[illegible]ぶり、ガランとした[illegible]は午前九時から[illegible]

東西 の[illegible]

[illegible]

必勝貯蓄達成へ
臺北市奉壯團であす總常會

[illegible]

三國志
(941)
（赤壁の卷）
吉川英治作　矢野橋村畫

[illegible]

新年號 キング
世界の戰局と大東亞戰爭
長期戰の實相を語る
南太平洋海戰從軍記
益子挺身隊奮戰記
新連載小說 米英史 御楯 浮ぶ地獄
[illegible]

5年10年の慢性胃腸病が
ケンカイ
[illegible]

高血壓に リキシマン
中風に
[illegible]

ビクター 第3輯 新選 童謠集
ざうりにサール
日の丸 [illegible]
[illegible]

痛快！胸もすく…
アメリカ・イギリス擊滅の記錄！
大東亞戰史
テイチクレコード
[illegible]

高級 口紅 ホ・紅
クロノール
この健康色が生きた健康美をつくる…
大阪・三栗商會・東京

（明治三十一年五月一日第三種郵便物認可）　昭和十八年一月七日（木曜日）　臺灣日日新報　第一万五千三百八十九號　A　（一）

臺灣日日新報

本日夕刊共六頁

政府議會準備を急ぐ
提出法律案結局七十件
殘餘の案件けふ閣議へ

【東京電話】政府は來る二十一日の議會再開を前に着々議會準備を急ぎつつあり議會提出法律案も客臘三十一日の閣議までに五十七件を決定し殘餘の法律案についても速かにこれを決定することとし七日の繰上げ閣議に殘餘の法律案を一括附議することになつたが、租稅法規の改正に關する法律案、有價證券取引所法案及び特別會計上の措置を伴ふ法律案などは次會の閣議に持ち越される事となつてゐる、而して政府は去る十一月十日の閣議において今議會提出法律案件名五十七件を決定して以來これが整備を急ぐと共に成文化に努め去る三十一日までに、五十七件の法案を決定したがこの內には市制・町村制など改正に關する法律案要綱より府縣制中改正法律案、市制中改正法律案、町村制中改正法律案、北海道會法中改正法律案と四件の法律案が作成されて居り、右の如く立法技術上第一の要綱から數件の法律案が作成されるものもあるので、議會提出法律案は結局約七十件に達するものと見られる、同政府は去る十二月十日の閣議において明年度一般會計豫算案を決定したが法律案の決定と並行して明年度特別會計豫算案の決定を急ぐこととなり內外地特別會計豫算案を七日の繰上げ閣議に附議することとなつた

舊套を脫却國威昂揚
貴族院の對議會態度

【東京電話】貴族院各派は來る二十一日の休會明けを前にして議案に對する態度決定のため所屬の各派幹部會議において議案の研究をなすべく諸般の準備を進めてゐるが今期議會が大東亞戰爭開始以來第二回目の通常議會たると同時に擧國一致の政事結社たる翼賛政治會が貴衆兩院議員の殆ど全部を網羅しこれを中心として運營さるべき初の議會なるに鑑み政府は固より衆議院とも極めて緊密なる連絡を保ち議會機能の圓滑なる發揮に遺憾なきを期してゐる、即ち從來の議會運營形態より脫却し議會の論議を通して民意の指導暢達と國威の昂揚に努むべしとの見地より議案の審議は固より一般質問等も戰爭遂行上必要事項のみに限定し眞に戰時議會の面目を發揮たらしむる意向である、從つて國務大臣の施政に對する質問は質問通告者を抽籤によつて順序を決定する手筈であるが休會明け第一日の二十一日行はれる豫定の東條首相の一般施政並谷外相の外交演說に對しては特に代表的質問を行はしむべしとの主張が有力に擡頭して居り今後各派間に折衝が行はれることにならう

塚田中將、大將に昇進
飛行機に搭乘行動中　中支戰線に戰死

【東京電話】大東亞戰爭に寺內南方軍最高指揮官を助け總參謀長として赫々の武勳を建てた後、轉じて在支兵團長として直接野戰の大陸の戰野に活躍中であつた塚田攻中將及び同じく南方派遣兵團參謀長として偉功を建て現在支兵團參謀に轉じた藤原武大佐は昨臘十二月十八日作戰指導を帶び飛行機に搭乘行動中、中支戰線に戰死を遂げたが、陸軍では六日塚田中將は大將へ、藤原大佐は少將へ夫々進級した旨發表した

陸軍省發表（一月六日）今般左の通り發令せられたり

陸軍中將　塚田攻
任陸軍大將
陸軍大佐　藤原武
任陸軍少將

略歷【東京電話】塚田攻大將　茨城縣出身、大正三年十一月陸大卒、同十四年十一月陸大專攻科卒、昭和三年八月參謀本部部員、同六年二月聯隊長、同七年六月兵務課長、同八年八月關東軍參謀長、同十年三月陸大兵學教官、同九月參謀本部部長、同十一年十月在支兵團參謀長、同十三年三月陸大校長、同年十二月在滿兵團長、同十五年十一月參謀次長、同十六年末南方方面陸軍總參謀長、十七年七月在支兵團長として現在に至る

藤原武少將　岡山市出身、昭和六年十一月陸大卒、同九年三月在滿兵團參謀、同十三年三月參謀本部部員兼陸大兵學教官、同九月在支兵團參謀、同十五年十二月陸大兵學教官、同十六年九月北部軍參謀、同年末南方派遣兵團參謀長、同十七年六月在支兵團參謀として現在に至る

吳鎭守發表

【吳電】吳鎭守府六日發表
海軍少將　小林謙五
補吳鎭守府參謀長
前任參謀長中島中將は海上要職に補せられたり

印度の反英抗爭激化
カルカッタ空襲の意義

從來、テンスキア、チッタゴンその他印度東部の印緬國境に限られてゐた我が陸鷲の猛威が昨臘十二月二十日に至つて、長驅印度國防の中樞にまで及んでカルカッタに及んだことは我にその及ぼすところ甚だ大なるものがあり、印度に據點して飛躍する米英聯合軍反攻の夢がここに新たなる段階に入つたものといへよう、それのみならず敵側を驚かしめる今次の爆擊が持つ意義はカルカッタが印度攻防のさし當つての中樞神經たると共に印度第一の軍需工業の中心であるだけに一層その重大性を增大して來るのである。既に我が爆擊今回のカルカッタ爆擊は正に敵の虛を衝いた形で印度政府、米英聯合軍司令部の狼狽と相俟つて、印度民衆の反英抗爭を激化する結果となつた、爾後の成果は未だ發表されないが[illegible]

印度東部の國防は[illegible]

ビルマ全土を[illegible]

交通地理の上から云つて[illegible]

印度國防の[illegible]

盡く防彈壁を[illegible]

避難問題は[illegible]

印度政廳は[illegible]

荒天怒濤を今ぞ迎へて北太平洋を征く我が巡洋艦（海軍省許可第七一號）

敵機七十三を擊墜破
緬甸で二ケ月間の大戰果

【ラングーン四日發同盟】大東亞戰の敗戰を挽回せんとする米英はソロモン、ニューギニア方面における對日反攻に呼應してビルマの奪回を企圖し空からゲリラ戰を強化すると共にビルマに反擊を企圖しつつあつたが、わが軍は昨臘中旬より下旬にかけて東部インド及び雲南の敵航空基地を急襲し猛爆して大打擊を與へる一方十二月中にビルマへ飛行した敵機の內五十一機を擊墜し（二十機は空中戰、三十一機は地上砲火による）ビルマ領內に不時着した敵戰鬪機二機を鹵獲し（わが方でその殆ど使用可能）十一月中の擊墜約二十機を合すればビルマ領內のみで二ケ月間に約七十三機の敵機の大戰果を擧げて敵の空中反攻企圖を粉碎すると共にアキャブ方面の敵地上攻略も精銳なるわが第一線部隊によつてその都度完全に擊攘された、尚ほ[illegible]方面のビルマ領內各地に於ける一般ビルマ人の被害も最近は日本軍の防空指導によつて被害は著しく減少し却つて敵の盲爆によるビルマ人の反英米意識は一層熾烈となつてゐる

韶關に敵影を認めず

【〇〇基地六日發同盟】元旦以來連續的に江西、廣東、廣西、湖南各方面に猛威を揮ひつつある我が陸軍航空部隊は四日に引續き又復五日廣東省北部に於ける要衝韶關を大擧急襲、敵飛行場施設を木端微塵に粉碎した、この日極めて不良なる天候の中を陸軍航空部隊は果敢にも衝いて大擧出動韶關上空に殺到するや敵地上砲火は一齊に火を吐いたが我が荒鷲はこの熾烈なる防空砲火を冒して敵飛行場施設に片端しから命中彈を浴せこれを完膚なきまでに爆碎十數箇所から火焰の上るのを認めて全機悠々歸還したがこの日も敵機の姿を認めず敵は我が猛威の前に完全に潛伏し去つた

匪團を蹂躪

【山東省南部〇〇前線六日發同盟】わが土居部隊所屬部隊は敵第七旅に屬する匪團約一千が膠縣北方約二十五粁の山地において蠢動しつつあるを探知し元旦を期して討伐出動、各所に之を擊破して各山頂に燦然の日章旗をひるがへした、敵の遺棄屍左の如し
遺棄死體七〇、捕虜七二、鹵獲品、小銃九四、その他多數

滿洲國の產業決戰陣
對日寄與一段と強化

【新京六日發同盟】決戰段階に入つた大東亞戰爭を勝ち抜くべく昭和十八年に對處すべく滿洲國は北邊振興と對日寄與の二大方針の下に四千三百萬官民一致となつて使命達成に邁進すべき態勢を整へてゐるが、對日寄與の產業部面における決戰布陣は次の如くである

一、鐵鋼　[illegible]

二、石炭　[illegible]

三、非鐵金屬　[illegible]

四、液體燃料　[illegible]

五、機械及び化學工業　[illegible]

六、電力　[illegible]

七、輕工業　[illegible]

八、農業　[illegible]

四億六千萬圓程度
督府豫算けふ閣議へ

[illegible]

許可、認可等臨時措置法案

【東京電話】政府は行政事務處理を決戰態勢の要請に即應するための重要な措置として今議會に行政簡素化に關する法律案を提出することを決定したがその一部として[illegible]

滿獨交換放送協定近く調印

【新京六日發同盟】[illegible]

齋藤總務長官空路歸途へ

【東京電話】[illegible]

大東亞省の引越し
滿鐵ビルに移轉

【東京電話】[illegible]

ゴム統制會
設立委員等を任命

[illegible]

印度の各新聞一齊に停刊す

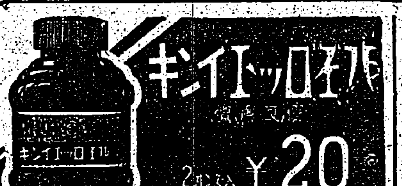
【イスタンブール五日發同盟】[illegible]

靜岡銀行近く發足

【靜岡電】[illegible]

人事

[illegible]

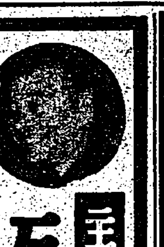


パイロットインキ　2オンス　¥.20

糖尿病

新保　[illegible]

主婦之友社長　石川武美著
わが愛する家庭
戰時下の逞しき新家庭建設の書！
定價一圓八十錢
新刊
わが愛する生活　石川武美著
明けゆく空　大森洪太著
幸福なる生活　本多靜六著
主婦之友社



農業世界　十二月號
直ぐ役立つ農事手引
博文館

小學館の少國民雜誌
ツヨイコヨイコ
良い子の友
少國民の友
小學館

青少年向・増刷出來★偕成社
源義經
さかだち學校
瞼のひと
星座の話
大南洋の話

社説

佛領を侵略する米の野望
惜むべき彼が火事泥的暴措

一

西亞戰に於ける樞軸軍[illegible]の戰の中心は目下北阿に集中されて居るかの觀を呈して居る。其の因の内殊にチュニジア方面に於て、も猛烈に戰闘が行はれてゐるが、英米軍の攻勢は最初の口程どもなく所謂鈍化し、ドイツ空軍の猛攻の前に漸次敗退しつつあるは今や蔽ふべからざる事實で司令官アイゼンハウアーの狼狽も色よりが既に見える。このアイゼンハウアーはアメリカの將官で北阿米軍の總指揮者ではあるが、其の職は北阿に於ける米英兩軍を共に統べて居る。彼は更に又北阿聯合軍の指揮者たるのみならずジブラルタルのイギリス要塞をも其の指揮下に置いてゐるのである。この事は最初イギリスに於て〝戰略的考慮〟から秘められてゐたのであるが最近漸く發表せられて今更の如くイギリス國民を驚殺したところであつた。これは其の筈でイギリスが地中海制覇の要圖の下にこの天險をスペインより剝奪したのが丁度西曆紀元一七〇四年で、殆んど二百五十年に垂んとする長年月を苟くも他國人に一指でも觸れしめなかつたところのもので、心あるものならずしてもイギリス國の哀れ衰運の末を嗟嘆するのは當然の事でなければならぬと思ふ。

二

先きにアメリカ軍が佛領ダカールに上陸作戰を試むるであらうとして屢傳されたのであつたが、今日ではとくに之を占領してゐるのみならず、リベリア共和國をも事實上アメリカ植民地と化して居り更にイギリス領黄金海岸の兩方より挾擊して佛領象牙海岸をも其の手に收めてゐるやうである。更に北方を見れば佛領モロッコの首都たるカサブランカ港は早くも既に占領せられて、アメリカの大軍をここより上陸せしめてアルジェー方面より上陸した者と連携し、北阿西寄りの佛領植民地の要衝は米軍に確保せらるるに至つた。この要衝に立ちフランス軍部の要人を使嗾して所謂ダルラン傀儡政府を樹立せしめたのが、言ふまでもなくこのアイゼンハウアーであり、アイゼンハウアーの背後に在つて糸を引いて居る者はルーズベルトであることは勿論である。併しダルランは暗殺されたのでルーズベルトも失望せんばかりに口惜しがつたといふ、さもあるべきである。次いで同じ味のジローがダルランの後任として選ばれたのであるが、之に對して既に暗殺犯人の十二名も逮捕されたと言ふ。斯かる事件でかつて外國政府に操られて居る國に弓を引く如き者はどうせ碌な目に遭ふ者は無い。更に最近發表せられた所に據れば東部アフリカに於けるフランスの〝最後の植民地〟たるソマリーランドもこれはイギリスの爲めに全く蹂躪さるるに至つた事に思ひ到るとき、米英兩國は元々友邦たるフランス共和國の植民地といふ植民地は、殆んど全部といつて好いほど火事泥式に之を侵略して了つたといつて好いのである。

三

フランス政府は之に對して宣戰を發し、一九四〇年以來アングロサクソンのために侵奪されたフランス領土は〝一千一百萬平方粁に及ぶがフランス國民は必ずこれらの領域を奪回して四千四百萬のフランス人を解放するであらう〟と實に悲壯なる宣言を發した。既に國際に値するところと言はなければならないのである。然りアングロサクソンの遣り口は[illegible]肉を切つて行く骨をも[illegible]といふ盜賊的性格をば剝き出しに[illegible]フランスに對して[illegible]したものと云ひ得るのである。故にアメリカ參戰の目的は決してイギリス帝國を援護して民衆の福祉に復歸せしむる爲めではなくして要するにアメリカがイギリスを誘うて共に日本を壓迫し、遂に日本の勢力を奪ひ、更にグアムやウエーキを失つたアメリカが之をアフリカに於て取り戻さうといふ意圖の下にジブラルタルも英國の占領を行つて所謂〝既成事實〟を造り上げて之をイギリスに押し付けんとするものに外ならず。然も〝これは佛領の占領を防止する爲めであつて敢て侵略に亘るものでは無い〟と白々しくも述べ立ててゐるのである。アメリカ今後の動向も必ずやこの形式を出でぬであらうことは想像に難くない。即ち國際的に見[illegible]儀に過ぎない[illegible]を逞ふする強盜と言ふの外なく、我が日本が飽くまで之を覆滅せねばならぬ所以に在ることも極めて明々白々であると信ずる。

簡易保險郵便年金 共に好成績
更に島民の協力を要望

簡易保險並に郵便年金事業が臺灣に創始されて以來、昨年十月で十五周年を迎へた、創始以來十月末までの成績は簡易保險百十六萬五千三百件三億一千二百二十二萬四千二百[illegible]圓、郵便年金二千二百件[illegible]となり、其の他の公共團體に對する積立金の貸付は六百七十六件四千三百三十萬四千六百圓に上つてゐる、更に創始以來昨年十二月末までの契約は簡易保險百五十八萬六千七百件三億三千四百十二萬四千二百圓、郵便年金二千四百件百二十四萬六千六百圓となり、特に十七年度は聖戰の一環として〝簡易保險一戸一口加入運動〟及び〝郵便年金普及強調運動〟の實施により例年にない好成績をあげてゐるが、本年度十一月末までの實績は簡易保險九十萬件の目標に對し三十八萬餘件、郵便年金契約金百五十萬圓の目標に對し八十八萬餘圓であり、樂觀を許さないのである、他面これら事業の積立金は國債消化に生産擴充資金に充當され戰時財政經濟に全面的協力をなすと共に一部は地方に於ける公共事業等に寄與する等決戰下重大使命を負荷されてゐる點に鑑み關係當局は今後一段と六百萬島民の協力を要望されてゐる

米の桐油自給策
樞軸側の通商破壞から

【東京支社特電】打ち續く敗戰と樞軸側の強力な通商破壞に多大の船舶を喪失され、いくら造船に拍車をかけてもその損失を補ふに足らぬ窮境を來してゐる米國は世界一を誇るあの石油さへ不足を告げてゐるといふ——その例證にもなる一事ともみるべきは桐油の自給策である、曾てアメリカはペンキ及ニス工業の年會が開かれたとき、同國の桐油工業を確立せしむべき計畫が樹てらるることとなつたが、これはその頃支那から輸入された桐油が常に混ぜ物がしてあつて、苦い經驗をなめたことによつて、どうかして本品を自國生産品で自給しようと決心したのであつた、この結果としてフロリダ州のゲインスビーユといふ地の附近に百五十町歩（三百エーカー）の地所を見立て、これを整理して四ケ月間にその全部に桐樹を栽植し、同時に一方に於て種苗所を設け他の栽培者に分配すべき苗木の仕立てに着手した、右の百五十町歩に植つけた目的は同州の農夫にかかる生産物の存することを示し、且つその樹の米國に於て漸く急速に生長せしめ得ることを實地目睹せしめようとしたのである、その後間もなく一團の栽培團體が組織せられ、約一千二百町歩の地所を選定して十年前の春其内六百町歩に桐樹を植つけたが、其苗は前記の養成所から供給された、斯くて此苗木養成所並に同州の林業試驗場から、アラバマその他五州並にキューバ、ヒリッピン、布哇までも桐樹の苗木及び種子が供給されたが、この計畫は氣候が此木の栽培に適すべく觀察さるる限りの地方に廣く之を分配することであつたので、その栽培數は大抵三千本許りのものであつたが中には五千本に達するものも少くなかつた、ゲインスビューの附近では今や栽培數三十萬本に達してゐるが、その多くは樹齡の若いものである、樹は高さ七尺五寸乃至一丈に達し、あるものは實を生じた、今日までの成績によるとルイジアナ及びキユーバに於ける休閑中の甘蔗畑は桐樹に適し理想的栽培地で、又布哇、ヒリッピン等も成功の見込は十分であつた、だが大東亞戰勃發と共に最も見込ありとされてゐたヒリッピンは我國に占領され、早やアメリカのものでない布哇も日本人農夫を壓迫してゐる由だから生産は低下されたのではあるまいか、米國は桐油の輸入を千九百三十年から開始することを禁止してゐたが大東亞戰勃發まで支那から輸入してゐたことから考へれば消費の多い爲めによるか、或は生産がまだ理想の域にまで達してゐないのではあるまいか、フロリダに於ける各種試驗の成績に基いてみるに、桐油の生産額は一町歩につき三年目から九年目まで八ポンドから三千六百ポンドである

半搗米實施で
約十二萬石が浮ぶ

督府食糧局では決戰下食糧確保の萬全を期する爲め先般米穀搗精制限規則の改正を斷行として從來七分搗米として搗精配給されてゐた島内の消費米を本年一月一日より五分搗米即ち半搗米として搗精配給することになつた事を發表したが、右の搗精制限規則改正實施に依つて幾何量の米が浮上るかといふと島内に於ける一ケ年の消費米を六百萬石と見做してその二パーセント即ち十二萬石が浮くことになる譯であり、この數字は戰時に於て決して大量のものではないが、戰時下米の節約と食糧確保の點からも一粒の米も粗末にしてはならぬ今日の時局下國民生活の上より見て最も價値にして且つ有效適切なる措置であることは勿論であつて他方島民の食生活上より見るも好結果をもたらすことは疑ひを容れぬ所である、内地に於ては昨今盛んに玄米食が唱道奬勵されある位であるから半搗米は衛生的に於ても消化上よりても理想的なる食糧と謂ふべきであると見られてゐる

ドイツの交通計畫
新しき文化推進の鐵道

新らしき文化を推進するものは鐵道であり航路であり、空路である、交通はただに文化の發展を促すのみならず、否それ以上に、大東亞の建設を遂行する上に、絶對不可缺の手段である、この交通工作についてドイツは如何なる方法を持つてゐるだらうか

現在歐洲の 鐵道は戰爭による破壞のため著しく減殺されてゐるが、ドイツは歐洲大陸について鐵道系統が確立しない限り新秩序の建設は不可能であるとして、今回の擴張と補充に絶大の努力を拂つてゐる、それ故戰時下にもかかはらず、[illegible]力と資材の不足する戰時下にもかかはらず、[illegible]今日でも[illegible]の交通新計畫に共き新設工事を進めてゐるところもある、ただ[illegible]と航路の[illegible]より、北西、とドイツとを繋ぐ[illegible]の[illegible]を除けば、[illegible]してゐないから[illegible]の[illegible]は自然[illegible]と河川水運の兩者が[illegible]にあかれてゐる、新歐洲交通政策の特徴は[illegible]各國が[illegible]交通計畫を、歐洲[illegible]一元的に統合[illegible]、さらにこれを一元的に統制することを目的としてゐることにあるが、このためには、歐洲の地理的條件は極めて恵まれてゐる、いづれにせよ

新歐洲交通 計畫がここ二十年來事情が[illegible]今日まで[illegible]た[illegible]を含めて考へられてゐることは、この[illegible]從來の[illegible]と不可分の關係に[illegible]くといふ點において[illegible]の[illegible]であるが、專門家の意見では歐洲の鐵道網はバルカンおよびイベリア半島をのぞけば相當高い密度をもつてゐるから、歐洲交通政策の明日の課題はむしろ速力を高めることと輸送力の増大といふ點に置かるべきだが、速力については歐洲鐵道の場合には 將來時速を二百キロ乃至二百五十キロまで引上げることは必ずしも不可能ではなく、交通線の[illegible]が高く且つ、水力の豐富な地域では電化といふことも考慮さるべき課題の一つとされてゐる、さらに、このほか、鐵道事故防止の目的をもつて鐵道、特に[illegible]を多く[illegible]し、歐洲の鐵道から木造車を驅逐するとか、ドイツ國有鐵道を模範とし、同一平面における交叉點を撤廢することなども主張されてゐるが、これらの計畫も資材と勞力の關係で、いづれも將來に殘されてゐる、從つて當面の課題としては、戰爭を繞つた交通施設の復舊と、現在交通線の能率增進等に主力が注がれてゐる、元來交通路は重要な

攻擊目標の 一つであるだけに、その破壞は相當激しく、その復舊工事は重要な課題であるが、ドイツは多數の專門技術者を始めトット建設班、勞働奉仕團等までも動員し全力を擧げてこれに當つてゐる、この結果前線の中で ヘンマーを揮つた交通復舊班の勞力は既に大きな數字となつて現はれてゐる、例へば、一九四〇年度におけるドイツのポーランド交通復舊工事の跡をみると、既に一千キロの國道が自動車専用道路として復興し更に工事中のものだけでも一千八百キロにおよんでゐるほか、五百以上の橋梁が架設されてゐる、またフランスでも破壞された鐵橋やトンネルの 一部は再建され、一九五分は修理され將來も一千五百三十二のうち五百八十七が再び架設され、一千三百十七がなつた運河延長五千二百キロも一九四一年末までに四千キロを完了して全部修理され既に船舶三千十隻のうち八百七十四隻は引揚げられそのうち八百七十四隻は使用可能になつたと報告されてゐる

最も激しい 打撃を受けたソ聯領でも交通方面の復舊は特にめざましく一九四二年十月一日ヒトラー總統はその演説の中で「戰線の後方で行はれた交通再建の活動によつて約一千の橋梁と二萬三千五百キロの鐵道が再び使用され、さらに一萬五千キロの鐵道が歐洲標準軌道に改修され、現に數千キロの道路工事が進行してゐる」と發表してゐる、一九四二年に東部占領地自動車道路計畫事務所を建設を更に積極的に進めるため、は新ソ聯領における自動車道路の北はリガ南はレンベルクに到るした、ドイツは占領地における復舊工事のほか一方ではバルカン方面のごとく、比較的交通機關の發展が低く能率も運輸も悪い地方の交通を整備して、これに歐洲交通網の一部としての十分な役割を果させようとしてゐる、一九四一年十一月末ルーマニア交通相はドイツを訪問して、ルーマニアにおける交通路ならびに鐵道施設建設に關するドイツ側の援助を要請した結果、ドイツの援助の下に交通

五ケ年計畫 を斷行することに決し、その直後からドイツとルーマニア間に鐵道が直通し東南歐諸國の歐洲交通網への参加が一歩近づいたさらに一九四二年八月二十九日ルーマニア政府は全國道路化計畫なるものを發表し、數千人の勞働工を使つて、着々工事を進めてゐる、同日ルーマニア、ブルガリア兩國間に、ドナウ河水流を利用する水力發電所建設に關する協定が成立し、さらに十月十一日にはルーマニア領のギウルグイから對岸ブルガリア領のルシュクに至るドナウ河を渡る大鐵橋を工費十億レヴァ、五ケ年計畫で建設する協定が締結された、從來ベオグラードから黑海に至る七百キロの間ドナウに架せられた鐵橋は一個所もなく、常に連絡船によるほかなかつただけに、これが完成の曉には、バルカン交通網に與へる便宜は少なからざるものがあると期待されてゐる、かく各地域における交通網の復舊と擴充の結果は大陸に全歐を結ぶ一貫した交通網へ發展しようとする氣運を高め、ソ、イタリア、ハンガリー、ブルガリア、クロアチア、スロヴァキア、セルビアの各代表間に交通統一計畫に關する

協力が誓約 された、現在着手されてゐる陸上交通路建設の大工事の一つは、デンマークとドイツとを繋ぐ新連絡路で、これはリューベック灣の北方フェマルン島と、ドイツ本土との間に汽車、自動車、兩用の新橋梁を架設する(?)ほか、鐵道の改修、自動車道路の新設、フェーマルン島とデンマーク領ラーラント間の自動車兼用運河の新造などを含み、ドイツ、デンマーク兩國の共同事業として四年後に完成する豫定である、このほかドイツの自動車道路を利用して、歐洲大陸横斷自動車道路の建設も具體化しつつあるが、この道路はベルギーのオステンドからブリュッセル、ケルン、ヴィーン、ブダペスト、ベオグラード、ソフィアを經て、イスタンブールに至るもので、その支線として、ブカレストからコンスタンツアに至る線も計畫されてゐる、ドイツ國内の各代表が集まり鐵道會議を開いた結果、フランスからギリシャの ザロニカ迄直通列車を運轉することに決定、次いで十月三日ブカレストで開かれた中歐並にドナウ諸國會議では、ルーマニア、ドイツ、スイス、イタリア、クロアチア、セルビア、ブルガリアの各代表が集まり一九四二年六月三十日ソフィアに 首都ソフィアの都市計畫に織り込まれ、トルコでもブルガリア國境からイスタンブールに至る自動車道路建設十ケ年計畫が立てられてゐる、かかる陸上交通路の建設と併行して、河川水運の擴充統一計畫が進められてゐるが、この際中心となるのはドナウ河である、これはライン河、マイン河、ドナウ河をつなぐ水路とオーデル河とドナウ河とをつなぐ水路とにより、中歐を貫いて北海と黑海とを結ぶ南北物資輸送路を確立しようとするもので、この水路は東南歐から穀物、石油、鑛產物などをドイツに運びドイツからは工業製品、石炭などを供給する最も重要な輸送路である、ドイツの支配力がコーカサスにまで及んだ今日では、黑海方面とドイツとを繋ぐ水路として

その重要性 は倍加してゐる、ドナウ河は現在でもヴイーン上流まで一千トン級の船舶が航行不能で、これ以上資材を投じて改良する必要はないが、ドイツは更にドナウを中心とする歐洲水運統一計畫を立ててゐる

現在考慮されてゐる主な計畫を擧げると左の通りである

（一）各水路の必要設備の他の改良拡充

（二）小型曳船の規格統一と運航

（三）一千トン級の内河汽船の建造

（四）ドナウ河に運河による黑海水路を開設すること

（五）オーデル・ドナウ河を延長しアドリア海への水路を開くこと

（六）ドナウ河とドイツのエルベ、ヴェーゼルの兩河、國境附近のボーデン湖とを結ぶ水路を開設すること

（七）ベオグラードから、ザロニカにいたる水路を開設し、ドナウとエーゲ海とを結ぶこと

ドナウを中心とする中歐の河川水運開發と併行してドイツ側では新ポーランドを南北に貫流するヴァイヒセル（ヴイスツラ）河の改修計畫を進めてゐる、これは各所にダムを作り、一千トン級船舶の

航行を可能 にすることと共に、沿岸の灌漑施設、發電所の建設、河川用船舶の造船などを目的とする總合計畫で、ドイツはポーランド作戰終了と同時にこれに着手した、この水路は上部シュレジエンの石炭、鐵、その他の鑛產物をダンチッヒ經由で北部ドイツに運び逆に一部の農產物を消費地に送るため重要であるが、さらにブク—・ドニエプル運河の改修によつてウクライナや黑海方面との交通を促進するものとして大いに期待されてゐる、かくしてドナウ河を中心とする歐洲河川水運の擴張計畫が着々進められてゐるとき一九四二年九月二十九日ヴイーンで開かれたドナウ河航運會議共同會議が、『ドナウ航行に關する諸問題につき沿岸各國間に完全なる意見の一致をみた』と發表したことは注目すべきである

海運新計畫 海運關係については戰後における船舶隊の建造が問題の中心となつてゐるが、これについては最少の資材と勞働力で最大任務を果すといふ原則に沿ひ出來るだけ型を減らせて、造船能率を上げることが強調されてゐる、この結果、優秀性能の船舶の型を選定し、しかもその型を出來るだけ少數に統制して造船工業の能率增進をはかることとなり、船主および造船業者の自治組織たるハンブルグ造船研究所およびゲルマニッシュ・ロイドの共同參加のもとに特別委員會が設けられ、優秀な船舶の型を決定することになつた、河川用船舶については既に歐洲河川水運の新秩序建設に關聯し一定の型が定められ、戰後における ドイツ運河水運の方向を示唆してゐる、歐洲共榮圈の運河關係についても、ドイツ通信相オーネゾルゲ氏は一九四一年六月ハーグで行つた演説において、近き將來に歐洲運河同盟が[illegible]されることを示唆したが、歐洲内部における通信聯絡の統一化の立場から結成大陸共通の郵便料金の設定といふことも單なる空想には終らないであらう、既にドイツとデンマークとの間に共通の郵便料金制が施行されてゐることはこの新なる方向を示すものといへよう

水產食料品の重要性
東京帝大農學部講師　水野武夫

今日の食糧問題の重點は、綜合的食糧政策の確立であるべきであつて、單なる一部市一個人の問題ではなく、わが日本が百年、千年を見透した、大東亞共榮圈を完全に確保して、八紘一宇の世界を建設するに十分なる施策がなされなくてはならぬ重大問題なのである、この場合、特に水產食料品は民族發展の基礎たる人的資源の育成の上に於て最も重要なる要素を提供するものであつて、東亞共榮圈はわが日本人の手によつて行はれ而も大東亞の食糧の供給がなされることが最も大切である

食糧から見た米　さて、我國食糧問題の現狀を觀るに、昔とは非常に異なつた狀態をとつて、撒かれるに至つた、即ちお米には炭水化物の外に、蛋白質とは云へ蛋白質、脂肪成分、ヴイタミン等が含有されて居るので、勞働に從事する者や一般の人々が今日の米の配給から一粒の米も粗末にしてはならぬ今日の時局下に於て[illegible]が[illegible]を攝取することが出來て居る間は、お米を十分に攝取するといふ程度に於て魚類や肉類や蔬菜、果實の如きものも所謂副食物と云つて片附けても栄養上の問題は比較的に解決されて居たのであるが、お米も逐次節米配給されることになつてそれ以上を攝取することが出來なくなつた以上、蛋白質、脂肪、鹽分、ヴイタミン等の栄養素は必然的にお米以外の他の食品によつて今後よりも完全に補給を受けなくてはならぬことになつた譯であつて、之は多くの場合に於ては人々の知ると知らざるとに拘らず強い生理的要求としてあらはれ、若しこれが滿たされぬ場合には別の病を起したり、或は仕事をすれば疲勞し易くなると云ふ様な狀態が出現することとなるのが普通であるが、この事は將來の國家が最も必要とする日本民族の體位上の重大問題ばかりでなく、今日の現實の問題としては生產擴充の仕事の上の能率低下を來す原因ともなつて、戰爭遂行上の重大問題となると云ふことを十分よく認識しなくてはならぬ、ここに初めて人々は蛋白質食品が常に主要食糧の米のみが食糧でないと云ふことがよく認識せられると信ずる

水產食品の供給　この點に關して檢討を進めてみるに米に代る蛋白質、脂肪、鹽分等の供給源としての食糧が、今後いよいよ大陸化すると云へるのであるが、これ等の食糧の確保については日本の海洋風土を初め、歷史、經濟等の生産能力の供給の點より見、或は勞力の問題、消費方法や、價格、配給上の諸問題等を考慮すれば、何としても、水產食料品が、今後の我國食糧問題解決上には最も重要なる地位をとると云ふことが容易に察知出來る、勿論植物性蛋白脂肪の供給については、滿洲の大豆の増産、支那の菜種、南方よりは椰子油の供給等が考へられるのであるが、然し、蛋白、脂肪の供給については、我國の今日迄の食糧の習慣より考へても、或は滿洲や蒙疆地區、支那その他南洋の國方面等の狀況より考へても今後わかに十分なる供給は殆ど期待することは出來ぬ、從つて我國としては何としても水產食品を以てこれを十分供給することを考へられなくてはならぬ、云ふまでもなく、海國日本は、その生産能力や國民生活を左右する程度狀態等より考へても、從來より水產食料品に依存することが多かつたのであるが、今やその要求は、戰時下に於て水產品の供給が既に重要になればなるだけ一段と切實になつて居る、然し、この様に今日の水產食料品の供給があつた結果として、これが取扱ひは自然に放任して、あるがままに生産し、あるがままに消費すると云ふ狀態がとられて居て、その供給と消費とが遊離すると云ふ様な場合の如きは、殆ど參考だにせざるが如き狀態に終過して居たために、今日の様な戰時下の要求に[illegible]より見れば生産は云ふに及ばずその加工、貯藏、運搬等の諸面に於ても、相當に缺ける點があつた、勿論、世界屈指の水產國日本として、他に比較すれば相當著しい進展はありとするも、多くは個人企業なり、或は營利會社企業の如きにまかせられて、國家的施策の如きは甚だ未だしの感が多かつたために、今日の如くに國家的要求としての水產食料品の重要性が認められながらも未だ十分なる施策が要求にも合致し得ずして、誠に遺憾ながら國家の強力なる統制が今日にして要求せられて居る譯であつて、一日も速かにこの方面への政府の施策と努力が望ましい點である

綜合的な解決　斯くして、水產食料品を綜合すれば我日本人は、今日迄よりも一層重大なる分野を以て、水產食品の生産、配給消費について努力しなくてはならぬ、即ちその漁業を擴大するにある、漁撈の方法の改善、魚族繁殖上の魚族の育成、漁具の統制、魚網林、魚附林の保護等々のあらゆる生産上の施策を國家の手によつて、なされなくてはならぬ、北洋方面の漁業は、今後に於ても最も有望であり、南洋の漁業また相當の希望を持つことを得る今日の日本の狀態は、我日本人の大なる發展を持つて居る、かくして、漁獲されたる魚類は、之を配給し、消費せしむるための配給用船舶の建造、冷凍、冷藏の設備の擴大を初め缶詰、乾物、鹽藏、その他諸種の加工を施して貯藏、移動を可能ならしむる方策を講ずることが必要、十分よく考慮されなくてはならぬ、殊に我日本人の手による貯藏技術の完成、配給船、輸送のための汽車、トラックその他の設備の如きを完全に施設することは最も大切である、その際に於て生産されたる水產食料品と他の諸種の食料品等の綜合的なる完全消費について、日本人のよき指導は缺かせられなくてはならぬ、かくしてこそ初めて、よき食糧綜合的解決がなされ、よき人的資源は育成されて、大東亞共榮圈の建設が完成されると云ふべきである、勿論日本人が食糧問題解決上に缺くべき施策は、決して水產食料品のみではないが、水產國日本の日本人が水產食料品の問題解決への使命は重大であると云はねばならぬ

現物取引市場創設か
目下具體案研究中

府財務局では一昨年十一月公布實施された有價證券取引規則に基き有價證券取引の監督なる建議を受けて來たが、今般時局の推移に依り現物取引市場創設の必要性を認め現物取引研究中の處取引所の創設には相當の時日を要するので之に先立ち一應現物取引市場を創設する事に決定をみた模様である、該市場の根據は有價證券取引規則の府令第十二號（大正九年一月十七日公布實施）又は府令第十二號（米又は有價證券の取引に關する件）に依つて處理するとも同市場は逐次制度の設立を計るに必要とせば之を設立する筈であるが、目下具體案を研究中であるから近く具體案の現物取引市場が設置されるものと期待されてゐる

貿易統制令施行規則改正の打合

貿易統制令施行規則の改正に關し府[illegible]商工課では既に所要の[illegible]を圖ることに内定した模様で之に伴ふ關係業者の改正規則の施行に[illegible]し年頭より毎日打合會をなし萬全の準備を進めてゐる

日室海南興業創立

【海南島支局特電】海南島の鐵山及び石炭開發の日本窒素肥料株式會社は現地資源の擴充に必要とし去る十二月一日から海南島興業を取扱めて資本金〇〇圓で日室海南興業株式會社を創立、本社から分離獨立して海南島事業に專念することになり、海南島に事務本部を置き社長久保田豐氏と專務取締役陳東茂氏は

三井支店異動

三井物產では臺北、高雄兩支店に異動あり高雄支店長山本雄一氏が取締役となり本店不動產部長柴崎榮治郎氏が高雄支店長を命ぜられたが、臺北支店の異動は（括弧内は前職）

專任臺北支店長代理兼臺北支店長代理川村新太郎（支店長代理兼木材課長）庶務課長兼務一平（砂糖課長）資產部長兼北支店長代理兼支店長代理（出張所長）事務課長兼臺北支店長代理兼木材課長木原三（木材課長）

右の異動によつて臺北支店の支店長代理は一人減じて四人となつた、専任支店長代理は從來陶淵明治氏一人であつたが栗田、川村兩氏を加へて三人となつたわけである、尚取締役となつた前高雄支店長山本雄一氏は同支店長約五年で、支店長約十年に及ぶ功勞者で本年二月の停年を前に退職し北支の三井系列會社に入るべく目下上京中である

北支店雜貨係主任として活躍してゐた又和泉多助氏は昭和十三年二月從五年になり雜貨課長及び兼任木材課長を經て昨年一月支店長代理兼砂糖課長となり今日に至つたが今回の雜貨統制會に入り雜貨部次長に就任のことに內定し後任高木砂糖課長の前任後事前引繼の上赴任の筈

臺銀人事異動

臺灣銀行本部では左記の人事異動を發表した

臺南支店支配人代理　主事　武田信亮

命臺南支店副支配人

商況（六日）
不活潑商狀を示現

兜町前場況

【東京電】昨日明けの市場は引續き新規材料に乏しく大阪組の賣殆は著しく手控へ人氣を促進して弱調を呈したのが注目された、短期新東は八十一圓五十錢と二十錢安に寄付、續いて一圓丁度まで軟化したがアト地場の買込みで二圓八十錢と反撥し大引も八十二圓四十錢と強調を示した、長期では二ッケルの三圓七十錢方削り落を始め東亞[illegible]三圓五十錢安、東京製綱、同鐵新、東亞[illegible]も二圓內外安となつたが片倉は一圓九十錢方細通して注目され麥酒新、北炭新も一圓五、六十錢高を告げた一方東株は三圓方暴落したが新東は短期の戻りから却つて五十錢方引締め區々を示した

兜町後場況

【東京電】後場は短期新東の引續き好調に強株も乾燥一巡の傾向と共に安値の突込みは警戒の模合となつて一般に下落するもの多く概ね強調を示したが伊勢崎新、北炭新等は却つて利喰に引緩み部分的には軟調を免れなかつた、短期新東は八十二圓六十錢と二十錢高に始まり續いて一圓八十錢と引締めたがアト伸惱み屆值を示して一圓八十錢まで下押し結局八十二圓十錢と反騰した、東株は反彈と共に好材料合みに物色買物轉換して三圓五十錢方買進まれて注目されたのを始め、ベアリング、不二越、ピストンも一圓五、九十錢方上伸、その他片倉、食糧新、岡本工業、浦賀麥酒等も一圓—三十錢高を告げたが三菱重工新、北炭新、東亞燃弄新、日鐵新は七、九十錢安を示した、東株は殆ど株一圓方反落したが新東は四十錢方小動みで依然區々であつた

東京短期前場

[illegible]

東京長期前場

[illegible]

東京短期後場

[illegible]

東京長期後場

[illegible]

東京銀行實株

[illegible]

東京國債實物

[illegible]

大阪長期前場

[illegible]

大阪短期前場

[illegible]

大阪短期後場

[illegible]

島內現株相場

（臺灣有價證券組合調）

[illegible]

公債株式賣買

株式

投資

案內

申込次第贈呈

臺北市京町四ノ四

村岡證券

電話　四〇四六　九六九一　五〇二二番

齊藤晌著

日本的世界觀

A5・三五〇頁　價二・五〇　送料二〇

世紀の岐路に立つ日本文化の本質を究め歷史的決斷の日本國家を自覺づけ國家理論の世界觀的基礎を確立せる劃期的勞作！

新刊

東京神田一ツ橋二ノ五　振替東京八六七三三番

朝倉書店

痛み疲れに

サロメチール

肩凝り　神經痛　ロイマチス

皮膚面にただ擦り込むだけで…直接炎症部に浸達して速やかに鎭痛・消炎の効果を發揮す——

一圓十錢　二圓五十錢

虛弱妊婦

活肝の全有效成分で迅速に榮養の增進を——

ビタミンA.D.B₂・ホルモン・造血素に富み消化吸收早し

甘くて服みよく胃腸と食慾を害せず

農林省水產試驗場創製

衰弱・貧血　視力・齒に

わかもと製

水產化學工業製造

心臟や胸を芯から丈夫にする

古來の皇漢藥道、並に現代ホルモン藥理上、優れた効目を謳はれる、猛獸や強精動物のホルモン精腺、麝香・犀角・熊膽・牛黃・眞珠其他配伍の「救心」

動悸、息切れ　熱ね汗を去り　食を進ませる

救心

この藥は、心臟の鼓動や大動脈の働きに作用する[illegible]のホルモン製で、腦、[illegible]の疲勞が早く、心臟や肺、脛腺、胃腸を綜合作用でよく[illegible]し、[illegible]去り、眞の健康體にするので喜ばれます。

一心臟の手當と食養生」の本進呈

朝夕一粒

東京市京橋區八丁堀二丁目　發賣元　救心本舖　振替東京七二七大番

一週分二圓、二週分三圓五〇、三週分五圓　全國藥店百貨店あり、品切れ時は直接本舖へ

新春の陽光に銀翼燦！

きのふ晴の帝都訪問飛行

新興代用品展　出品物審査會

新春

新春の陽光に銀翼燦！

きのふ晴の帝都訪問飛行

陸鷲五百機

【東京發】宿命に輝く戰火の內に迎へた決戰の年、皇紀二千六百三年の新春六日陸鷲の精鋭五百機の大編隊は晴の帝都訪問飛行を行つた、この日午前十一時大空に轟する爆音は折から宮城前を行く人々の歩みを止める、見よ、新春の陽光に銀翼燦を輝かせて雄姿を現はす重、輕爆撃機、各種戰鬪機、偵察機、仰ぎ見る市民の胸には限りない信頼と感激が漲つてゐる、男も女も、會社員、產業戰士から國民學校兒童に至る[illegible]堂々たる陸鷲に[illegible]ら南はソロモン群島[illegible]この部隊のなかには武勲赫々の新鋭[illegible]「隼」[illegible]の口から思はず[illegible]の嘆聲を發してゐる

帝都訪問陸鷲同乘記

【〇〇にて六日發同盟】[illegible]へる出發の朝、[illegible]く描かれた日の丸が[illegible]みる[illegible]だ、われ〳〵は今この新鋭[illegible]

帝都 を訪問するのだ、先づ飛行服に身を固めた記者等は[illegible]から一渡り注意を受けて午前九時二十分[illegible]

[illegible]

下界 を見たさに[illegible]

[illegible]

細長 い[illegible]

[illegible]

靖國 の杜、[illegible]

[illegible]

大東亞戰爭完遂へ最高度に總力發揮

臺北州下產奉關係者會合凝議

[illegible]

產業 [illegible]

宣誓

[illegible]

右宣誓す
昭和十八年一月六日
臺北州產業報國關係者一同

抗日の迷夢も覺め新比島建設を誓ふ

比島政界に師弟愛美談

【マニラ特派員】[illegible]

恩師 [illegible]

島都を擧げ貯蓄完遂

けふ緊急總常會で方途協議

臺北市壽壯園

[illegible]

一、[illegible]
一、[illegible]
一、[illegible]

長谷川總督年始詣で

きのふ・護國、建功神社へ

[illegible]

各界指導者懇談會

[illegible]

東條首相、山本提督へ

比島の二少年から年賀狀

【マニラ特派員】[illegible]

新春 を迎へ比島の[illegible]

尊敬 [illegible]

トウゴウ・デュラン君から東條首相宛
[illegible]

ノギ・デュラン君から山本聯合艦隊司令長官宛
[illegible]

海軍 が一ばん好きです、[illegible]

日本 がかつやうに[illegible]

選擧 [illegible]

身柄 [illegible]

戰ふ青少年團の錬成

國防能力增進に重點指向

【東京發】米英撃滅・大東亞戰完遂[illegible]

[illegible]

新興代用品展出品物審査會

[illegible]

新春增產譜（三）

【羊】滿洲

[illegible]

放送劇團員募集

[illegible]

映畫"東洋の凱歌"

[illegible]

飛行機獻納基金募集企畫委員會

[illegible]

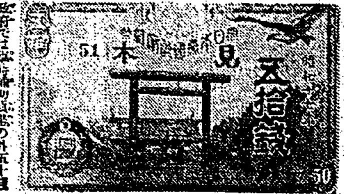
晝食に島內產の代用食

軍司令部で新しい試み

[illegible]

三菱印カーボン紙

[illegible]



五十錢小額紙幣

近く臺灣にも御目見得

[illegible]

適齡青年集め[illegible]

海軍へ恤兵金

お年玉を節し

[illegible]

臺北遠乘會の機構變更

[illegible]

週辰運動

[illegible]

ラジオ

オ一放送

[illegible]

オ二放送

[illegible]

戰爭保險取扱
辰馬海上火災
社長 辰馬吉左衛門

漢方 中山胃腸藥
勝ちぬく爲には健康を！
試藥說明書進呈
中山研究所

今日の映畫と演藝
大世界　台灣　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華戲園
台北合同演藝會社
今日の東寶國際館
基隆の映畫
基隆劇場　世界館　旭劇場　高砂劇場　皇光新劇園

萬媒
石堂　產婆　邦文　寫眞　看護　助手　荷造　御預　古本　大猫　京染　新型

め い せ ん て
春の必需御召料は
秩父屋吳服店

眼鏡專門
時計眼鏡
和田メガネ店
電話 一三九五三番

泌尿器科 周磐石

姓名學 名付ト改姓名
姓名學館 堀澤天久堂

寫眞 卒業アルバム 專門
武田寫眞場

高級 冬向 洋服地荷揃
大菊商行

頌春
サア出發だ……頑張りませう……
臺北市本町二 精美堂

各種靴・非常袋・救護袋
大正堂靴鞄店

大衆向食堂
ヒカル食堂

機帆船船員募集
南日本汽船株式會社

東洋鐵工株式會社

第六回決算報告

會葬御禮
高松和雄

會葬御禮
横山貞助
親族一同

黃魏氏瓊儀
親戚
友人

威風堂々の觀兵式
喇叭の奏樂に、翩翻たる軍艦旗
燦たり無敵海軍の威容

【馬公電話】馬公警備府の觀兵式は六日午前十時から[illegible]に於て施行された、之より[illegible]司令官以下[illegible]大田澎湖廳長、各官衙長並に[illegible]三廳警察部長其他本日の[illegible]の觀兵式拜觀を許された陸軍、消防組、各防衞團、各學校生徒見[illegible]其他は定刻前既に[illegible]に[illegible]と時の至るを待つ、定刻に至るや高木馬公警備府司令長官は[illegible]參謀長以下各幕僚を從へ[illegible]將官旗の奏樂も[illegible]に閲兵式[illegible]官馬公防備隊司令[illegible]大佐に迎へられ[illegible]直に閲兵を行ひ終つて高木司令長官は[illegible]部隊の[illegible]を行ひ終つて[illegible]たる軍艦旗を先頭に[illegible]天を衝くの[illegible]以て[illegible]と分列式は[illegible]海軍の威力と誇りを見せて[illegible]の[illegible]に[illegible]して行はれ終つて司令長官は[illegible]ある言葉を以て本觀兵式に於て[illegible]、[illegible]に[illegible]立つてゐる[illegible]時局は[illegible]海軍の威力[illegible]に[illegible]多く其の重責は[illegible]大なるものあり、[illegible]は克くこの重責を自覺し[illegible]以て其の本分の完遂に[illegible]すべしとの力強き訓辭をなし[illegible]正午終つた

意氣昂し皇國の子
模型飛行機も飛ぶ壯烈の攻防戰
高雄州少年團錬成大會

第三日目

【高雄電話】高雄州少年團錬成大會の掉尾を飾る綜合演習は六日午前九時半から[illegible]ヶ丘の丘陵地帶において實施され步哨の[illegible]作から[illegible]、斥候および綜合演習を行ひ、模型飛行機を飛ばし壯烈なる攻防戰を展開、この間空襲に對する[illegible]作、瓦斯防禦並に救助[illegible]など次々に實施され、戰時下に[illegible]する皇國少年の意氣を[illegible]、十一時の[illegible]を以て演習を終り一同[illegible]を聞いたのち午後一時より[illegible]分列行進をなし各市郡の宿舍に移り各部隊對抗相撲大會を開いて夜は七時半より[illegible]と燃える營火を圍んで各團の劇、唱歌または[illegible]が行はれ樂しき團欒の最後の夜を[illegible]つて九時半錬成三日目の幕を閉んだが、七日は午前九時四十分より、それぞれ撤收を開始し一同[illegible]參拜して四日間の錬成を終ることになつてゐる

[illegible]長の[illegible]、[illegible]子[illegible]、[illegible]ンプ[illegible]あり友田[illegible]長、[illegible]田市長の訓示[illegible]あり引續き[illegible]水[illegible]式、分列行進あつて同十一時半閉式した

健民大會

【虎尾電話】虎尾郡主催健民大會は五日午後一時半より虎尾水源地[illegible]に於て[illegible]郡守、布川[illegible]、[illegible]來賓多數臨席の下に開催された、參集した老若男女の住民は[illegible]郡守の[illegible]示範に[illegible]されて各種の[illegible]は元氣一杯に演じられ午後四時過ぎ盛況裡に終了した

起てよ適格青年
保甲婦女團長 清川夫人熱辯

【朴子電話】米、英擊滅の秋、適格青年よ起て―と陸軍志願兵第二回募集に[illegible]の東石郡では既に各種[illegible]に青年層の[illegible]を促し第一回募集の一萬二千餘を超過すべく全面的[illegible]を展開してゐるが更に新春の初頭！五日午前十時から[illegible]に於て東石朴子支會主催の下に[illegible]の婦女子を集め之が[illegible]の爲め保甲婦女團長の清川夫人が母の立場から婦女子に呼びかけたが同夫人の熱辯は多大な感動を與へた

協議會員懇談會
羅東[illegible]事項を決議

【羅東電話】羅東街では五日午前十時、同街役場會議室で協議會員懇談會を開催協議した結果、[illegible]

增産へ擧州進軍
本年度 百十一萬石を目標に

【新竹電話】新竹州では昭和十八年度二期作の米穀增産に關し種々研究調査を續けて居るが、本年は百十一萬石の目標を以て、大綱[illegible]を樹立、近く關係官を[illegible]して[illegible]、改良[illegible]を求めて米、肥料[illegible]講習會を開く豫定であるが、州下四十萬[illegible]は勿論の事全州民擧ての增産運動が展開される筈であり、之が實施に[illegible]を[illegible]し八日午後一時半から州會議室に州下各郡[illegible]を[illegible]して[illegible]打ち合せを行ふ外二期作米[illegible]上[illegible]方策並に二期作の肥料[illegible]及び自給肥料の增産、耕作に[illegible]を[illegible]げる事に成つた

消防出初式

【臺中電話】新春を飾る臺中消防組出初式は六日午前十時より臺中公會堂[illegible]にて森田知事[illegible]、松山[illegible]部長、[illegible]田市長臨席の下に[illegible]、先づ國民儀禮あつて[illegible]組長の[illegible]

令旨奉戴式

【高雄電話】大日本婦人會高雄市支會では七日午後一時半市會議室において皇后陛下令旨奉戴記念式典を[illegible]、終了後代表者が高雄神社に參拜、必勝祈願祭を執行した

臺南【臺南電話】日婦臺南市支會では六日午前十一時市會議室において羽鳥支會長以下[illegible]以上が出席、令旨奉戴式を擧行終つて一同臺南神社に參拜、必勝祈願を行つた

胸躍る「若櫻の手記」（完）

譽あり「蓬萊の民草」
忠誠の道は兵たるのみ

大甲郡出身 簡坤淵君（九）

詩は流れ世は移り行けども千古[illegible]らざるものは神國日本の忠節一途の大精神である、兵になる、之は古より今に至るまで我が[illegible]の[illegible]であり[illegible]とする所である「今日よりは顧みなくて大君の醜の御楯と出で立つ我は」と萬葉集にございます通り今日からは何の心殘りもなく明々とした氣持ちで進んで一兵となつて君の[illegible]國の爲に[illegible]のであのだ、これより自分にとつて最高の名譽はないと[illegible]して出で行くその雄々しき姿その勇しき姿が目の前に浮べられるのでありませんか、或は又「海行かば水漬くかばね山行かば草むすかばね大君の邊にこそ死なめ顧みはせじ」と[illegible]じて出かけて行く古の武人！この精神こそ日本精神でなくてなんでありませうか、この精神たるや近くはハワイ大海戰に於て我が忠勇義烈たる將士の[illegible]となり古くは大楠公が湊川の戰に於て兄弟刺し違へ死せんとする時「七生人間に生れて朝敵を亡さん」と[illegible]まる至誠を[illegible]して[illegible]國の鬼[illegible]る、この日こそ私一生涯の感激とつたのである、これ等の如き何れも忠君愛國の前には身を鴻毛の輕きに安んじたるこの崇嚴なる大精神こそ我が國民性の[illegible]化であり、又我等の進むべき道を明示したのであると信じます、兵になる！これこそ日本人の誇りであり最高の榮譽であります、ああ忘れもしない昨年の六月二十日[illegible]の空いや澄みし日我等島民は畏くも陛下の一視同仁の大御心によりこの名譽ある兵を賜はられ方向を轉換して新たに行進し始めたのであして[illegible]國の念を湧出せしめたものである、畏くも明治天皇の御製に「新高の山のふもとの民草も茂りまさるときくぞ嬉しき」と常に御心にかけさせられたのである、今はまそかし[illegible]り給へる明治天皇陛下もこの[illegible]の[illegible]りに御滿足遊ばされてゐる事でせう、今日陛下に報い奉る手近かな道は唯志願兵に志願するのみである若い日まぼろしに見た兵、勇しき兵！それは最早夢でなく現實に軍服を身にまとへる私の光榮ある身となつたのであります、私は彼の行けども行けども果しなき大陸の曠野に[illegible]たる南洋の地に帝國の[illegible]を[illegible]つて連日連夜東奔西走せられつつある忠勇無比なる我が皇軍將士の勞苦を偲ぶ際に同じく大和男兒の血をうけし一人として衷心より感激し後を追つて志願兵に志願したいものであります

乘込まう日本丸
さア國家と共に前進だ

新港街出身 留媽興君（九）

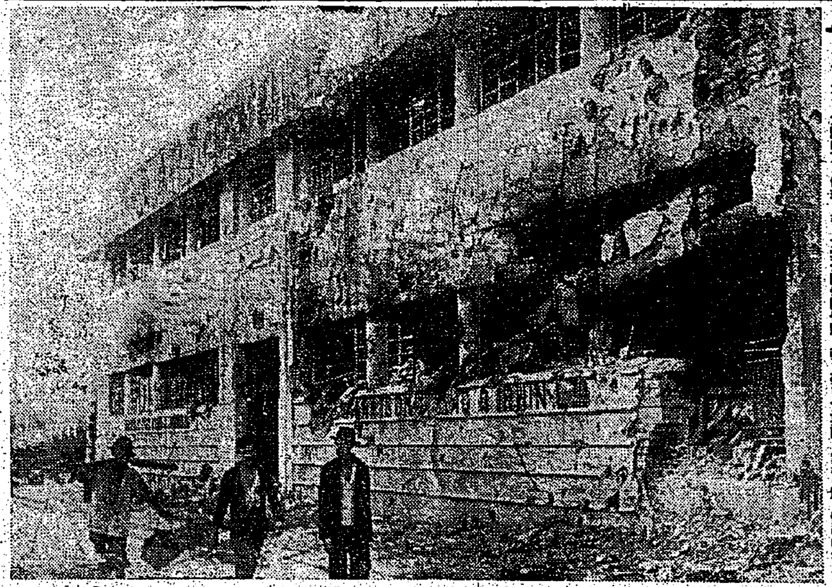
兵になる、これは平時を問はず戰時を問はず日本國民三大義務であります、榮譽あるこの兵役義務を果さなければ一人前の日本人とは[illegible]なく、不具と云はねばなりません志願兵制度施行發表の六月二十日六百萬島民擧つて[illegible]んだあの日こそ、我等本島青年の登龍門であり、[illegible]した日でありました、一視同仁の有難き大御心に[illegible]へ奉らねばなりません、我が國を一隻の船に[illegible]へますと、一般國民は日本丸に乘つてゐる乘組員であり乘客であります、私共の[illegible]、生命、名譽地位一切はこの日本丸の航行如何によるものでありますす、船が沈んで居れば私共は生き沈めば死ぬのである、即ち國家あつて始めて我々の生活が成立つのであります、今こそ船即ち國家をしつかりと守らねばなりません、國を守る事こそ我ら青年の[illegible]つた義務であります、私共は[illegible]ヤボヤしてゐると時代の落伍者となつて取返しのつかないものとなりますから時代に副うて志願兵の志願落伍者になつてはいけない、あの[illegible]深く突進して[illegible]くも華と散つた九勇士の盡忠報國の精神を旨とし永遠の範として日本精神を[illegible]得して[illegible]つて志願すべきものであります

第一線で戰ふぞ
見事合格の確信がある

員林郡出身 謝火炎君

六月二十日の感激の日！本島六百萬島民の感激の日、この日こそ新生面を拓かれた[illegible]の光榮ある日でありました、此の感激の日は私の終生の感激として私に[illegible]國の念を湧出せしめたのです、それで直ちに[illegible]に願書を提出したが不幸にも合格にもれた、しかし私は「よし明年だ」と志を決め本年を目ざして[illegible]に入隊して心身を練磨してきたのである、そして必ずや本年こそはと[illegible]志願兵の[illegible]會に入會し、[illegible]之に向へ[illegible]私[illegible]公の精神を[illegible]めあるのです、思ふに我が國は忠孝一本の國である、君に忠を[illegible]せば親に孝を[illegible]す所以であります、期待に期待した第二次の募集もはやせまつた、今度こそは必ず合格する確信であります、[illegible]ものか今度こそは合格して見せる、日本男兒として雄々しく第一線に立つて戰つて見せるぞそして[illegible]七生の[illegible]に[illegible]君國に[illegible]公を果す覺悟です

新生香港の横顔（三）



激戰を偲ぶ
英靈よ地下に安かれ

ビクトリヤピークは砲彈の衣裳を剝ぎとられた。香港は皇軍の[illegible]に[illegible]まで飛び去られたのだ。なんと激しい戰ひであつたらう、……鯉魚門水道は十二月十八日の月影を湛へて鈍く光つてゐた。白光[illegible]の灯も消えて、日英両軍最後の決戰を待たく[illegible]めてゐた。二國に[illegible]る[illegible]を[illegible]した我が[illegible]を引き裂いた英國、無辜の民を[illegible]に[illegible]きこんでまで侵略の[illegible]を失ふまいと足掻く英國、三キロの水道一つ距てて皇軍將兵の憤怒は正に心頭に發した。時は來た午後十時。鯉魚門水道の月光を衝いての[illegible]前上陸―それからの一週間は文字通り猛攻に次ぐ猛攻であつた。ニコルソン砲壘を血で[illegible]り、金馬倫山砲壘を[illegible]で破り、そしてビクトリヤピークを[illegible]で[illegible]いたのだ。「[illegible]の弔旗」ユニオンジヤツク地に[illegible]ち、[illegible]の日の丸[illegible]とはためいた十二月二十五日英國人にとつて樂しかるべきクリスマスは、彼自身の[illegible]のため「追悼」の贈り物をうけ、日本の丸の[illegible]サンタクロースは皮肉にも[illegible]を[illegible]つて彼らの前に現はれたのである。いま、[illegible]と化したビクトリヤピークの一角に立てば、あの日、あの時の皇軍の進擊がぐつと胸を衝き、熱いものが次々とこみあげてくる。この戰ひに散りし英靈よ、とこしへに安かれ

奔騰する志願兵熱
受付を前に勇む適格者

【嘉義電話】第二次特別志願兵募集が愈よ十日から開始されるが嘉義郡では[illegible]青年の志願を[illegible]する爲め既報の如く[illegible]郡守以下各課長、[illegible]主任[illegible]隊を組織して各派出所單位に講演會を開催、[illegible]の[illegible]民を[illegible]り並に志願者の[illegible]に努め[illegible]青年に多大の[illegible]を與へてをり、十日の[illegible]受付[illegible]早くも郡下志願兵[illegible]は[illegible]を[illegible]めてゐるが以下その[illegible]を一二紹介しよう

【一】同郡では昨年八月から月二回青年[illegible]成會を[illegible]き[illegible]を[illegible]りその終了式に九百余[illegible]したが全員志願を[illegible]明[illegible]を進めてゐる

【二】中埔庄では昨年末中埔[illegible]派出所[illegible]にて[illegible]年[illegible]民、壯丁[illegible]員六十餘名を集め[illegible]成會を開いて來たが同[illegible]成會に於て[illegible]部長が[illegible]演をなした[illegible]志願兵制度の話がでるや全員志願を[illegible]明した

[illegible]を擧げて近く臨時[illegible]を[illegible]し羅東[illegible]および[illegible]

[illegible]に向つて[illegible]する事になつた

勸業課長會議

【臺中電話】臺中州では六日午前十時から[illegible]で各市郡勸業課長會議を[illegible]、中山[illegible]部長[illegible]田[illegible]課長以下[illegible]係者出席[illegible]其の他に關し打合を行つた

東亞菓子有限會社

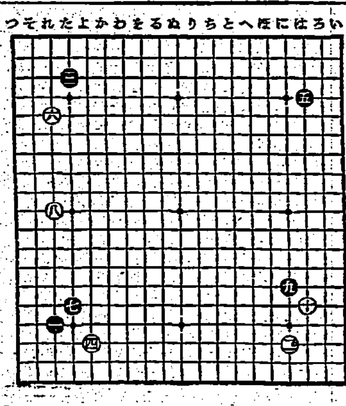
【臺中電話】臺中市の主なる菓子商[illegible]を今[illegible]の強化を圖る爲合同して東亞菓子有限會社を創立、[illegible]を[illegible]所として七日から[illegible]業する事となつた

若櫻[illegible]訓練

[illegible]では五日より九日までの五日間[illegible]郡下[illegible]志願兵[illegible]入所生[illegible]全部を[illegible]し一路兵の道へ[illegible]も[illegible]中である

藤澤六段 篠原六段 對戰

【第一回】
六段 藤澤庫之助
先番 六段 篠原正美
（四日年[illegible]出し）
持時間各十時間 一分以內切捨
消費時間（白〇時〇〇分 黑〇時〇〇分）



いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ
一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九
一
二
四
五
六
七
八
九
十

●一…れ大　○二…に七
●三…た三　○四…よ七
●五…は四　○六…れ五
●七…た十五　○八…れ十一
●九…に十四　○十…は十五

近來の大熱戰

評解 七段 小野田千代太郎

本局は決勝第二局である、第一局は坂田五段が勝つてゐるから、此の一局の勝者藤澤六段が篠原六段との間に決勝が爭はれる筈である[illegible]勝負の出場權がかかつてゐる大切な一局として、近來稀に見る力戰が演ぜられ、名棋譜が殘されたのである

◇白八ニでは一、三、五[illegible]流の布石[illegible]的な形である。◇黑九では、右上隅を「ほノ四」とシマリ、白は右下隅を「は十四」と大ゲイマにシマる形も考へられる、黑がさういふ形を[illegible]ずして[illegible]の如く二間にカカツた[illegible]は、かくカカツテ白を「へノ十六」と受けさせ、そこで「ほノ四」とシマらうといふのである。そこで白の方も敵の注文を[illegible]くことを[illegible]つて十と打つたのだ、かつまた此十は[illegible]でもある

飯の分量よりも消化率が肝要！

多く食べるより多く消化させなくては健康は保たれません

イーストをのむと面白いほど食物がこなれ痩體は肥り病弱は回復します。

一 百 價・二圓・五圓
全國有名藥店に在り

新 イースト

産業運動講演會

【臺中電話】皇[illegible]臺中州支部では[illegible]の光榮に浴した[illegible]木村[illegible]治氏を招聘、八日午後二時より[illegible]化會館にて[illegible]産業奉公運動に[illegible]する講演會並打合會を開催する

臨時部課長會議
十八年度事務處理打合

【臺中電話】臺中州では六日午後一時半から知事公室にて臨時部課長會議を開き昭和十八年度事務處理方法に關し打合せを行つた

後期入所生 早くも訓練

【臺南電話】志願兵後期入所生百二十二名に對する皇[illegible]臺南州支部の[illegible]訓練は六日午後三時國民道場で宮本支部長臨席の下に入所式を擧行したが一同國民道場に合宿十九日まで二週間[illegible]係官により入所前の猛烈なる訓練が實施される

赤誠の獻金

軍司令部（一月六日）

國防獻金 國防獻金五、〇〇〇圓臺北市下奎府町光[illegible]、[illegible]〇〇圓新莊郡[illegible]、[illegible]二十周年記念に[illegible]獻金、[illegible]會[illegible]生徒一同、一〇圓臺北市大安十二甲[illegible]、五圓九四錢臺北市本町[illegible]、三圓軍司令部內[illegible]、三五圓[illegible]郡[illegible]、五〇圓同[illegible]、[illegible]八五錢同[illegible]

恤兵金 五〇圓臺北市中和[illegible]、三〇圓臺北市[illegible]、[illegible]兵に[illegible]、三圓臺北市[illegible]、[illegible]八圓五〇錢臺北市[illegible]、[illegible]五〇圓同[illegible]、五〇圓[illegible]山郡[illegible]、[illegible]

獻品 [illegible]リヤカー一臺[illegible]、[illegible]一[illegible]

海軍武官府（六日[illegible]）

國防獻金 臺北[illegible]、[illegible]百五十圓、同[illegible]田[illegible]

建艦獻金 [illegible]一同七十一圓九十[illegible]、[illegible]一同八十一圓九十錢、同[illegible]一同百二十圓、[illegible]一同三百九圓十錢、[illegible]一同一千五百七十七圓五十錢、[illegible]一同二百三十四圓三十錢、[illegible]一同三十二圓四十錢

恤兵金 臺北[illegible]五十圓[illegible]、[illegible]十圓、同[illegible]七十錢、[illegible]十錢、[illegible]一圓、[illegible]

獻品 臺北[illegible]

大いなる祭（29）

中野實 作
三芳悌吉 畫

白旗（五）

「が、その前に」と梯はふらふら起ち上つて、「一杯乾杯しようぢやないか」と云ひながら、飾り棚の上の支那酒とグラスを持つて來て、「こいつは二百年から經つてゐる[illegible]克牌といふ酒だ。どうだい」「ええ、頂くわ」「ようし」[illegible]克牌が注がれると、二人は「乾杯」とグラスを鳴らして、一氣に呷り杯の底を見せあつた。

廊下の氣配をうかがつてから、素早くハンド・バックの[illegible]をとり出した。二つ並んだグラスの一つに、白い粉が落ちた。[illegible]色をした芳醇な液の中へ、その白い粉は見る見る中に溶けながら沈んで行つた。

間もなくコトン、コトンと階段を踏み鳴らして下りてくる梯の足音がした。彼女は[illegible]身をふるはせ心の動揺をおさへ切れなくなつたのか、まぎらすやうにピアノに向つて、意味もなく[illegible]盤をたたき始めた。

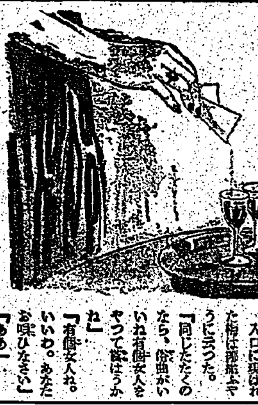
「ほほう、女王[illegible]は音樂のたしなみも深くあらせられる」

入口に現はれた梯は揶揄ふやうに云つた。

「同じしたたくのなら、俗曲がいいね有個女人をやつて貰はうかね」

「有個女人ね。いいわ。あたしお唄ひなさい」

「ああ」



有個女人
瓜子口面
住在南方
我在東邊
兩家分離
[illegible]在[illegible]隔
見他一面
明天[illegible]

「ははは。この歌の文句の通りだ。美々は南から、僕のところへ[illegible]つて來た」

「さうよ。[illegible]れてゐるなんて悲しいことだわ」

美々はピアノから離れると、卓子の上のグラスをとつて、

「さ、もう一度乾杯」

「よし、乾杯」

彼女は一息にあおり乾した杯の底を梯につきつけた。が、梯は、グラスに輕く唇をつけたまま、[illegible]のやうな[illegible]しい眼で美々を凝視してゐた。

「美々。廣東のお[illegible]さまに合はせてやる」

梯の聲は鋭かつた。

「さ、云つて」

「なにを」

「あら、いやだ。あんたの[illegible]をよ」

「あ、さうか。米、もう一杯飲んでから……」

手もとも危なげに、梯が乾したグラスに二杯目を注いだ時だつた彼は、急に思ひ出したやうに、

「あ、さうだ。その前に君に見せるものがあるんだ。僕が飛行將校だつた時代の寫眞をね」

「あの、林さんは飛行將校だつたの」

「さういふ時もあつたことがあるのさ」

[illegible]く笑ひながら、梯は、ひよろひよろと再び起ち上つて、扉をあけると、廊下の外へ出た。やがてコトン、コトンと二階の梯子段を登つてゆく足音が聞えた。

その足音が消えると、美々は、女豹のやうに椅子から彈ね上り、

鼻病にはビノサン

[illegible]はボケ記憶力や判斷力を[illegible]にする鼻病には一日も早く適切なお手當が肝要！ビノサン療法は內服藥や洗滌藥法と違ひ一風變つた[illegible]を[illegible]吸入器で鼻腔內に吸藥するだけで患部に[illegible]し殺菌、消炎、その他の作用を起し病原菌の活動を阻止、粘性ある鼻汁の排出をさせ、吸藥毎に氣分は爽快、その上使用は一日一回で手術痛いらぬ良藥です〇新時名[illegible]本家[illegible]東[illegible]代で[illegible]

定價 十日分 [illegible] 二十日分 [illegible] 九十日分 [illegible]
本家發賣元 小林盛[illegible]
代理店 大阪小林・高橋・[illegible]

2603
謹賀
國威宣揚

屏東市 田中耕吉
武原商店 武原通金
南港醫院 醫學士 鄭成業
南港齒科醫院 林氏菊
華興鐵工場 陳水和
ミリオンテイラー 田村洋服店 王新園
謝玉 松茂商會
大甲郡清水街清水字西勢 新高養兎生產加工組合 組合長 蔡垂裕
大甲郡清水街清水字西勢 大甲地區物果配給組合
大肚信用購買販賣利用組合
大甲郡大肚庄消費米組合 組合一同
大甲食鳥集配所
大甲消費米組合 役職員一同
保證責任 外埔信用販賣購買利用組合
外埔庄消費米組合 役職員一同
東亞醬油工業株式會社 取締役代表者 周[illegible]
大甲信用販賣購買利用組合 組合長 林[illegible]
大甲專賣品小賣人組合 常務理事 劉雲[illegible]
保證責任 大安信用購買販賣利用組合 組合長理事 李城 常務理事 廣田[illegible]一
保證責任 龍井信用購買販賣利用組合
龍井庄消費米組合
保證責任 梧棲信用購買販賣利用組合
梧棲消費米組合
株式會社 大丸商行
清水街消費米組合一同
御旅館 日月館
御旅館 山口屋
御旅館 櫻旅館
御旅館 能高ホテル
御旅館 三光ホテル
新町喫茶店組合 組合員一同
屏東市小賣市場賣店組合
屏東魚市場仲買人組合
屏東農產加工株式會社 社長 田中泰作 專務取締役 渡邊彌次郎
屏東交通株式會社
屏東藥業組合員一同
屏東洋服商組合
屏東食料品卸商組合

有限責任 屏東信用組合
屏東支店
臺灣殖漆株式會社 新竹、銅斗、玉井、大阪
竹南茶業株式會社
允成產業株式會社
保證責任 關山信用販賣購買利用組合
機械漉高級和紙製造 臺東開山工業所
澎湖廳、旗山郡、恆春郡 高雄地區青果物配給組合 組合長 松岡重盛
臺灣罐詰共販株式會社 臺南市北門町
嘉南大圳組合
新化郡消費米配給組合
右田醫院 高雄市湊町一ノ六 右田吉人
高雄市 洪欲採
神戶暗幕工業所 高雄支店
高雄市大港埔二八〇番地 卸商 仲吉商行
高雄市過田子二七七番地 洪工務所
高雄州清涼飲料水ラムネ組合
南日本化學工業株式會社
アルコール輸送株式會社高雄支店
高雄旅館組合
高雄驛前 すみた旅館
高雄州商工組合聯合會 東港郡支會
東港街米穀共精共販組合 役職員一同
東港郡萬丹庄 長興山
東港郡新園庄仙公廟 富士雅正
東港 川澤眼科醫院 川澤申發
林又春
屏東市米穀配給組合
屏東陶磁器硝子商組合
屏東味噌醬油製造業組合
屏東金物電氣商組合
屏東靴商組合
屏東菓子商組合
屏東運送業組合
屏東乘合自動車株式會社
屏東興農信用購買販賣利用組合
屏東信託株式會社
屏東市驛前 [illegible]陽館

屏東旅館組合
高雄州自動車運輸株式會社
高雄州タイヤー再生業組合 組合長 工藤折平
高雄州自動車工作株式會社
高雄州自動車講習所
高雄商業倉庫信用利用組合
新高建築信用購買利用組合
興業信用組合
東興組 大江啓源
高雄州生菜卸商配給組合
土木建築請負 李伯 伯工務所
株式會社 武智鐵工所 武智信知
高雄州纖維製品小賣商組合聯合會
有限責任 高雄信用組合
高雄交通株式會社
高雄州砂糖卸商組合
高雄州麥粉配給組合
高雄州移入紋油配給組合
高雄雜穀雜貨卸商組合
合資會社 山半商店
金子電業社
高雄市材木商組合
高雄乘合自動車株式會社
高雄造船
高雄土木建築請負業組合
高雄州青果同業組合
土木建築請負業 三和工務所
高雄文化建築信用利用組合
南邦興業株式會社
高雄州鹽乾魚卸商組合
高雄中央卸市場株式會社
合名會社 共〇電社
高雄信用購買販賣利用組合
洪欲[illegible]
臺灣拓殖株式會社 高雄支店
高雄銀行園
朝日電氣工業所
臺灣鐵線株式會社
日扇興業株式會社 高雄支店
南邦工業株式會社
高雄美術營業組合